

Canon

MK5000

MK3000

ケーブルIDプリンター

基本操作ガイド

本書に記載された機能を含め、本製品のすべての機能と操作方法については『ユーザーズガイド』に記載されています。
下記のウェブサイトよりご覧いただくことができます。

<https://cweb.canon.jp/manual/mark/>



この製品のご使用前に、本書に書かれた安全性に関する注意文をお読みください。
いつでも使用できるように大切に保管してください。

* 本書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

取扱説明書について

基本操作ガイド

本製品の基本的な機能・操作を説明しています。

ユーザーズガイド

本製品の機能や使いかたを詳しく説明しています。表紙に記載のサイトからご覧いただくことができます。(通信料はお客様のご負担になります。)

本書の見かた

■ マークについて



警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負うおそれのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、かならずこの警告事項をお守りください。



注意

取り扱いを誤った場合に、傷害を負うおそれや物的損害が発生するおそれのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、かならずこの注意事項をお守りください。



重要

守っていただきたい重要事項が書かれています。製品の故障・損傷や誤った操作を防ぐために、かならずお読みください。



メモ

操作の参考になることや補足説明が書かれています。

■ 記載について

- ・ 本書の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- ・ 本書は内容について万全を期していますが、万一不審な点や誤り、記載もれなどでお気づきの点がございましたら、お客様相談センターまでご連絡ください。
- ・ 本書では、MK5000 および Windows 10 を使用する環境を例に記載しています。MK3000 およびご使用の OS によっては表示画面や操作手順が一部異なる場合があります。

■ 略称について

- ・ Microsoft Windows 11 日本語版を Windows 11 と表記しています。
- ・ Microsoft Windows 10 日本語版を Windows 10 と表記しています。
- ・ Microsoft Windows を Windows と表記しています。

商標について

- ・ Canon、Canon ロゴは、キヤノン株式会社の商標です。
- ・ Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

- Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, INC. が所有する登録商標であり、キヤノンファインテックニスカはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- QR コードは、株式会社デンソーウェーブの商標です。
- エネループおよび eneloop はパナソニックグループの登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名、商品名は各社の登録商標または商標です。

規制について

■ 電波障害規制について

この装置は、クラス B 機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。なお、通信ケーブルはシールド付をご使用ください。

VCCI-B

■ 本体製品名称について

本製品は、販売されている地域の安全規制に従って、以下の () の名称で登録されていることがあります。MK5000 (PR-TP002)、MK3000 (PR-TP003)

■ 安全データシートについて

- 化学製品を安全かつ適切に取扱っていただくために、本製品で使用するインクリボンに含まれる物質名やその危険有害性情報、取扱上の注意、環境への影響などに関する情報を記載しています。
- 安全データシート (SDS) は、その内容が変更される場合があります。最新版はキヤノンホームページ (canon.jp/ecology) にて提供しております。あわせてご確認ください。

■ 使用済み製品および電池の廃棄について

- 使用済み製品 (本体、オプション、消耗品) は、以下に従って処分してください。
企業でお使いの場合：
「廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法)」に従って処分してください。
一般家庭でお使いの場合：
地域の条例に従って処分してください。
- 本体を廃棄するときは、電池を取り外してください。また、使い終わった電池は以下に従って処分してください。
企業でお使いの場合：
端子部分をビニールテープ等で絶縁して、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法)」に従って処分してください。
一般家庭でお使いの場合：
端子部分をビニールテープ等で絶縁して、リサイクル協力店にある充電式電池回収 BOX に入れてください。リサイクル協力店については、電池をご購入いただいた販売店または一般社団法人 JBRC (jbrc.com/) までお問い合わせください。

目次

 安全にお使いいただくために	1
使用上のご注意	6
各部の名称	8
外観	8
内部	9
チューブアタッチメント	9
キーの名称とはたらき	10
MK5000 キーボード	10
MK3000 キーボード	12
ディスプレイの見かた	14
お使いになる前に	16
同梱品の確認	16
電源の準備	17
基本的な使いかた	18
操作の流れ	18
1. リボンカセットをセットする	19
2. 印字媒体をセットする	20
3. 電源を入れる	22
4. 文字を入力する	23
5. 印刷する	25
6. データを保存する	27
7. 電源を切る	28
パソコンを使った印刷 (MK5000 のみ)	29
ソフトウェアのインストール	29
パソコンとの接続	31
MK デスクトップ・ユーティリティ を使って印刷する	32
こんなときには	34
リボンカセットを交換したい	34
印字媒体を交換したい	34
チューブやラベルテープが詰まった ときは	36
きれいに印刷されない / 印字媒体が うまく送れない / きれいにカットで きない / カット位置がずれる	39
印刷位置がずれる / 設定した長さ にならない	44
表示言語を変更したい	45
メッセージが表示されている	46
仕様	47
プリンター本体	47
印字媒体	49
ソフトウェアの動作環境 (MK5000 のみ)	49
付録	50
機能一覧	50
消耗品 / オプション一覧	54
カッター動作記録	55

安全にお使いいただくために

本製品をお使いになる前に、「安全にお使いいただくために」をよくお読みいただき正しくご使用ください。また、取扱説明書（本書やユーザーズガイド）に記載されていない操作は行わないでください。

■ 心臓ペースメーカーをお使いの方へ

警告

- 本製品からは微弱な磁気が出ています。異常を感じた場合は、本製品から離れて、医師にご相談ください。

■ 使用場所および保管場所について

警告

- 本製品の上や周辺に次のようなものを置かないでください。
 - アクセサリーなどの金属物
 - コップ、花瓶、植木鉢などの水や液体が入った容器これらが内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。内部に入った場合は、直ちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて修理を依頼してください。
- アルコールやシンナーなど引火性溶剤の近くに置かないでください。溶剤が内部の電気部品に触れると火災や感電の原因となります。

注意

- 本製品を次のような場所で使用または保管しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
 - 水が直接かかる場所
 - 湿気やほこりの多い場所
 - 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
 - 火気の近く
 - 直射日光の当たる場所
 - 高温な場所（暖房機器の近く、炎天下の車中など）
- 不安定な場所や振動のある場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

■ 電源コード、AC アダプターについて

警告

- 同梱の AC アダプター（PR-TP001）および電源コード以外は使用しないでください。火災や感電、故障の原因となります。また、同梱の AC アダプターおよび電源コードを他の製品に使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 電源コードや AC アダプターのそばに熱器具を置かないでください。火災や感電の原因となります。
- 延長コードや電源タップを使ってタコ足配線をしないでください。火災や感電の原因となります。
- 電源プラグは確実にコンセントの奥まで差し込んでください。電源プラグの刃（差し込み部）に金属などが触れると、火災や感電の原因となります。
- 電源コードおよび AC アダプターを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものを置いたり、加熱させたり、引っばったりしないでください。傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因となります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりしたまま使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 近くに雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜いてご使用をお控えください。雷によっては火災や感電、故障の原因となります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っばるとコードが傷ついて火災・感電の原因となります。
- AC アダプターを本製品から取り外すときは、必ず先に電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグがコンセントに接続している状態で AC アダプターの接続端子が金属部分に接触すると、火災や感電の原因になります。
- 指定された以外の電源電圧で使用しないでください。また、接続するコンセントの電源容量に十分余裕があることを確認してください。火災・感電・故障の原因となります。また、本製品は国内仕様です。日本国内でのみお使いください。

注意

- いつでも電源プラグを抜けるように、電源プラグの周りにはものを置かないでください。非常時に電源プラグを抜けなくなり、火災や感電の原因になることがあります。

■ 電池について

! 警告

- 電池の液漏れ、発熱、破裂による火災、故障やけがを防ぐために、以下のことを必ず守ってください。
 - 極性（＋と－の向き）に注意して正しくセットしてください。
 - 電池のセットや交換は、必ず電源を切ってから行ってください。
 - 必ず電池カバーを閉めて使用してください。
 - 分解、改造、ショート、加熱、火の中への投入を絶対にしないでください。
 - 金属製のネックレスやヘアピン、コインなどと一緒に持ち運んだり保管したりしないでください。
 - 濡れた手で電池を取り扱わないでください。
 - 充電した電池、放電した電池および新旧の電池を混ぜて使用しないでください。
 - 電池を使い切ったときや長期間使用しない場合には、電池を取り出してください。
- 使用、保管または移動する際は、次のような場所を避けてください。電池の液漏れ、破裂の原因になります。
 - 火気の近く
 - 直射日光の強い所や炎天下の車内
 - 極端に高温または低温になる場所
 - 高地など極端に低い気圧になる場所
- 電池を火や高温のオーブンに捨てたり、機械的に押しつぶしたり切断したりすると破裂して火災ややけどの原因になります。使い終わった電池は「**使用済み製品および電池の廃棄について（P.iii）**」に従って正しく処分してください。
- 電池から漏れた液が皮膚や衣服についたら、きれいな水で洗い流してください。目に入った場合は、失明などの恐れがあります。洗い流した後、すぐに医師の治療を受けてください。
- 電池は子供の手の届かない場所に保管してください。万一飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

! 注意

- 電池は「エネルギー（eneloop）単3形スタンダードモデル」（品番：BK-3MCC）を使用してください。これ以外の電池は使用しないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災やけがの原因になることがあります。
- 本製品にエネルギー（eneloop）の充電機能はありません。充電には必ずエネルギー（eneloop）の充電に対応したパナソニック製充電器をご使用ください。
- 電池に付属の取扱説明書や注意書きをお読みいただき、正しくご使用ください。

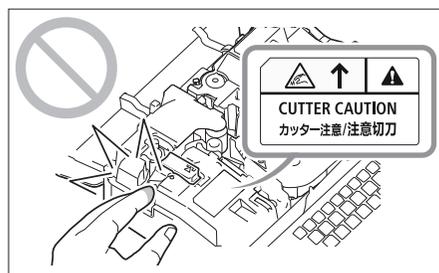
■ 取り扱いについて

! 警告

- 本製品を分解や改造したりしないでください。火災や感電、故障の原因となります。
- 本製品内部に金属類を差し込んだり、クリップやホチキスの針などの金属片を落としたりしないでください。火災、感電、故障やけがの原因となります。
- 異常な音やにおい、発熱、発煙に気づいたときは、直ちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。お客様による修理は危険ですから、絶対におやめください。
- 本製品の近くでは可燃性のスプレーを使用しないでください。スプレーのガスが内部の電気部品などに接触すると、火災・感電の原因となります。

! 注意

- 印刷直後の印字ヘッドは高温になっているため、絶対に手を触れないでください。やけどをするおそれがあります。
- 長期間本製品をご使用にならないときは、安全のため電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本製品は子供がいる可能性のある場所での使用には適していません。
- リボンカセット、クリーナー、カッターなどの消耗品や部品は、子供の手の届かないところに保管してください。誤ってなめたり飲み込んだりすると大変危険です。
- 本製品にはカッターが内蔵されています。取り扱いを誤ると、カッターの刃が飛び出し、けがの原因になることがあります。以下のことを必ずお守りください。
 - カッターを交換するときは必ず電源を切ってください。
 - つまった印字媒体や異物を取り除くときなど、カッター部周辺や排出口に指を入れるときは、必ず電源を切り、カッターを取り外してから行ってください。
 - カッターの刃に直接手を触れないでください。



■ 保守 / 点検について

! 警告

- 電源プラグは定期的に清掃してください。ほこりや汚れ、油煙などが付着した状態で長時間使用すると、ほこりが湿気を吸って絶縁不良による火災の原因となります。

- 電源コード、電源プラグ、ACアダプターは定期的に点検し、発熱、錆び、曲がり、擦れ、亀裂のような異常な状態がないことを確認してください。
- 本製品を清掃するときは、必ず電源を切って、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電池も取り外してください。火災や感電の原因となります。
- 本製品を清掃するときは、アルコール、シンナーなどの引火性溶剤を使用しないでください。溶剤が内部の電気部品に触れると火災や感電の原因となります。

■ チューブウォーマー（オプション）について

⚠ 警告

- 内部には手を触れると感電ややけどをするおそれがある箇所があります。火災の原因にもなりますので、絶対に分解や改造をしないでください。

⚠ 注意

- チューブウォーマーを加温した状態で、チューブをセットしたまま放置しないでください。チューブが過剰に熱せられた場合、火災の原因になることがあります。
- チューブウォーマーのチューブ挿入口およびチューブ排出口に指を入れないでください。やけどの原因になることがあります。

■ 安全規格関連の注意マーク

	電源スイッチオン (入り)		内部に危険電圧有。カバーを外さないこと。
	電源スイッチオフ (切り)		注意：高温触れないように注意してください。
	スタンバイ (待機状態)		クラスII機器
	プッシュプッシュスイッチ ■ "ON" ■ "OFF"		可動部有：可動部に触れないように注意してください。
	保護接地端子		鋭利な箇所有。鋭利な箇所に触れないよう注意してください。

- お使いの機器によっては表記されていないマークもあります。

使用上のご注意

使用環境について

- ・必ず動作環境をお守りください。「仕様 (P.47)」を参照してください。
- ・部屋を急激に暖めた場合や暖かい部屋へ本製品を移動した場合、本製品の表面や内部に水滴（結露）が生じることがあります。また、保管場所と使用する場所の温度や湿度に著しく差があるなど急激な温度変化や湿度変化は、印刷不良の原因になります。この場合は、1 時間以上放置して周囲の温度や湿度に慣らしてから使用してください。

AC アダプターと電池について

- ・本製品に電池と AC アダプターがセットされている場合は、AC アダプターを優先して電源供給されます。ただし、電池を消耗するため、AC アダプターを使用する場合は電池を取り外して使用することをおすすめします。
- ・本製品に電池と AC アダプターがセットされている場合は、印刷中に AC アダプターを抜かないでください。正常に印刷できません。
- ・電池を使用して印刷した場合、印刷中に AC アダプターを接続しても印刷が終了するまで電源供給は切り替わりません。
- ・AC アダプターから電池に電源を切り替えた直後は、電池の残量を正しく表示できません。印刷を開始すると、残量が更新されます。
- ・チューブウォーマー（オプション）を使用するときや、大きな文字（文字サイズ 6 mm）を印刷するときは、電池を早く消耗します。このような場合は、AC アダプターの使用をおすすめします。
- ・AC アダプターのジャック部の不具合、破損は修理ができません。本製品をご購入の販売店にて AC アダプターをお買い求めください。
- ・くり返し使用において、使用時間が短くなったときが電池の寿命です。その場合は、指定の新しい電池をお買い求めください。
- ・電池の端子が汚れたら、乾いたやわらかい布でふき、端子をきれいにしてから使用してください。

消耗品やオプションについて

- ・以下のようなチューブは使用しないでください。きれいに印刷できないだけでなく、故障の原因になることがあります。
 - ・折れている
 - ・つぶれている
 - ・ねじれている
 - ・厚みが均等でない
 - ・汚れている
 - ・凹凸がある
 - ・濡れている
- ・リボンカセットの IC チップに手を触れないでください。破損すると、リボンカセットの情報が読み取れなくなることがあります。
- ・インクリボンに直接手を触れないでください。手脂などがついて印刷不良の原因になったり、手や指が汚れたりすることがあります。インクで汚れた場合は、水と石鹸でよく洗浄してください。
- ・リボンカセットやラベルテープカセットは直射日光・高温・多湿・ホコリを避けて保管してください。また、開封後はできるだけ早めにお使いください。
- ・カセットやアタッチメントなどは専用のものをご使用ください。また、カセットを分解して、他のリボンや媒体を入れて使用することはおやめください。印刷不良や故障の原因になります。

- ・ 使用済みのリボンやラベルテープを再使用しないでください。故障の原因になります。

作成・保存したデータについて

- ・ 故障・修理・検査等に起因したデータ消失、および逸失利益など生じた損害につきましては、弊社は一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- ・ MK5000 をご使用の場合は、本製品で作成・保存したデータをパソコンなど他の記憶装置等にバックアップすることをおすすめします。（MK3000 はデータのバックアップができません）

損害について

- ・ 本製品および同梱ソフトウェアを運用した結果につきましては、弊社は一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- ・ お客様または第三者の不適切な使用により生じた損害、または改造・変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、弊社は一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

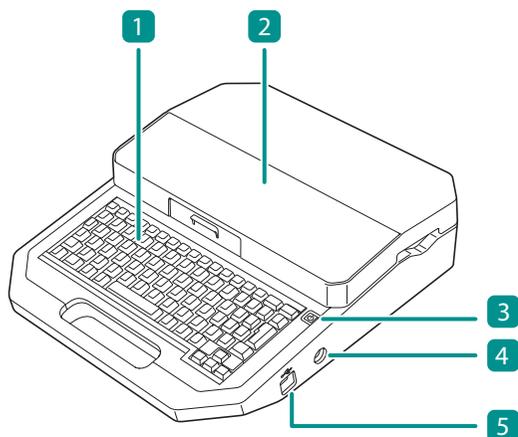
その他

- ・ 本製品の上に乗ったり、重いものを置いたりしないでください。故障の原因になることがあります。
- ・ 本製品に強い力や衝撃などを与えないでください。故障の原因になることがあります。
- ・ キーボードの操作はていねいに行ってください。乱雑な操作は故障の原因になることがあります。
- ・ 本製品の排出口周辺に物を置かないでください。排出を妨げる物があると、チューブやラベルテープがまっすぐに排出されず、曲がった状態でカットされることがあります。
- ・ 印刷中にチューブやラベルテープを無理に引っ張らないでください。印刷不良や故障の原因になることがあります。
- ・ 本製品はチューブまたはラベルテープに印刷するためのプリンターです。電線やケーブルなどに直接印刷することはできませんのでセットしないでください。故障の原因になることがあります。
- ・ 本製品を運ぶときは、カバーを閉じ、取っ手をしっかりと持ってください。
- ・ 本体内部のリボンカセット接続部、印字ヘッド、チューブウォーマー接続部には、手を触れないでください。故障の原因になることがあります。

各部の名称

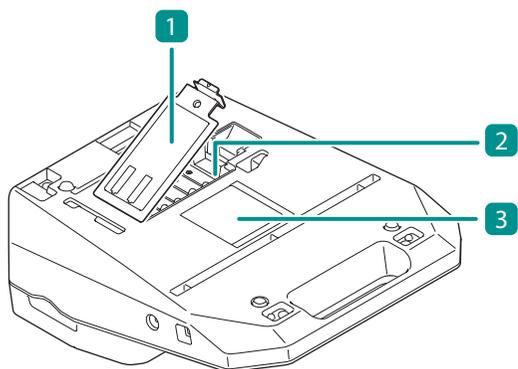
外観

■ 上面



- 1 キーボード
- 2 カバー
- 3 電源キー
- 4 AC アダプター接続部
- 5 USB ケーブル接続部 (タイプ B)

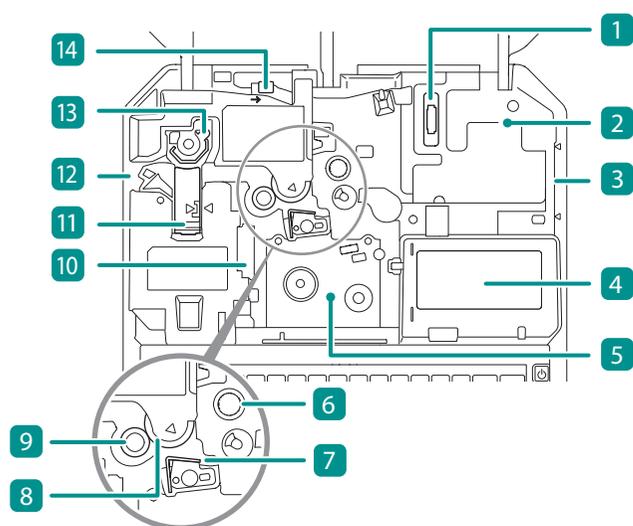
■ 底面



- 1 電池カバー
- 2 電池ケース
- 3 定格銘板*

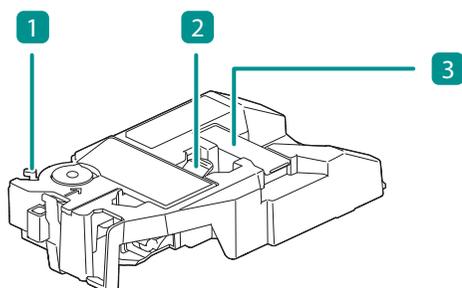
* 定格銘板には、製造者、モデル名、電気定格、シリアル番号が記載されています。

内部



- 1 チューブウォーマー接続部
- 2 アタッチメント/印字媒体カセットセット部
- 3 挿入口(アタッチメント装着時)
- 4 ディスプレイ
- 5 リボンカセットセット部
- 6 搬送ローラー 1
- 7 印字ヘッド
- 8 搬送ローラー 2
- 9 搬送ローラー 3
- 10 リボンカセット接続部
- 11 カッター
- 12 排出口
- 13 カッター受け台
- 14 ジャム解除レバー

チューブアタッチメント

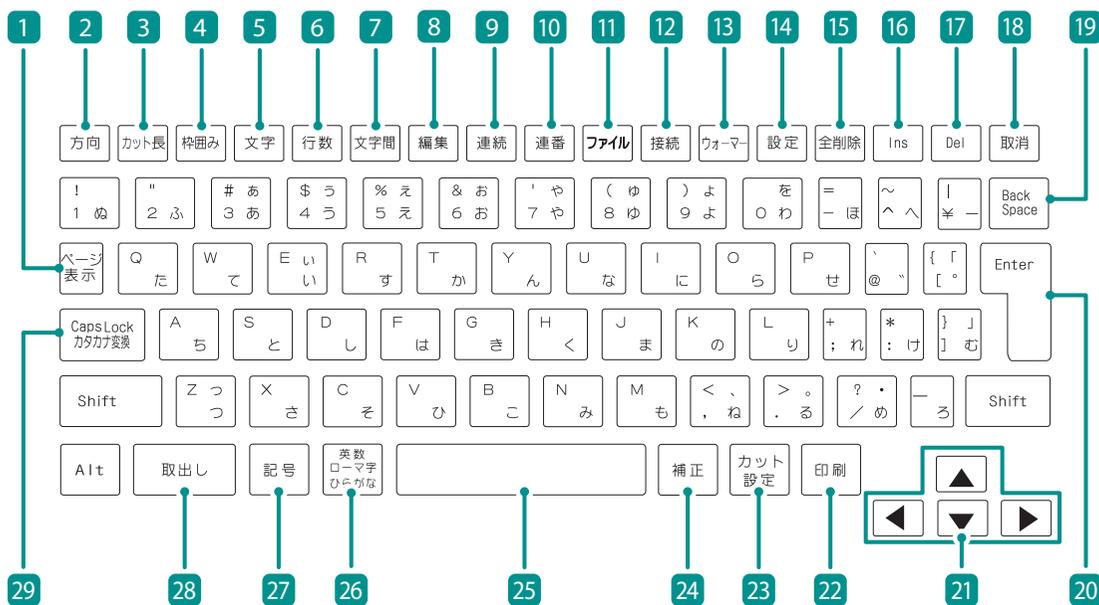


- 1 サイズ切り替えレバー
- 2 チューブ押さえレバー
- 3 クリーナー

キーの名称とはたらき

MK5000 キーボード

各機能キーから設定できる機能については「MK5000 機能一覧 (P.50)」を参照してください。



1	[ページ表示] キー	現在表示しているページのページ番号とそのデータの総ページ数を確認できます。また、本体メモリー残量の確認もできます。
2	[方向] キー	印刷の向き（縦向き / 横向き）と文字の方向（縦書き / 横書き）を指定します。
3	[カット長] キー	1 ページの長さ、文字配置、余白を指定します。
4	[枠囲み] キー	文字に枠を設定します。
5	[文字] キー	文字サイズを指定します。
6	[行数] キー	行数を指定します。
7	[文字間] キー	文字の間隔を指定します。
8	[編集] キー	ページを編集します。
9	[連続] キー	ページの繰り返し印刷を設定します。
10	[連番] キー	文字に連番を設定します。
11	[ファイル] キー	データの保存 / 呼び出しを設定します。
12	[接続] キー	パソコンやタブレット端末との接続を設定します。 (→ P.31)

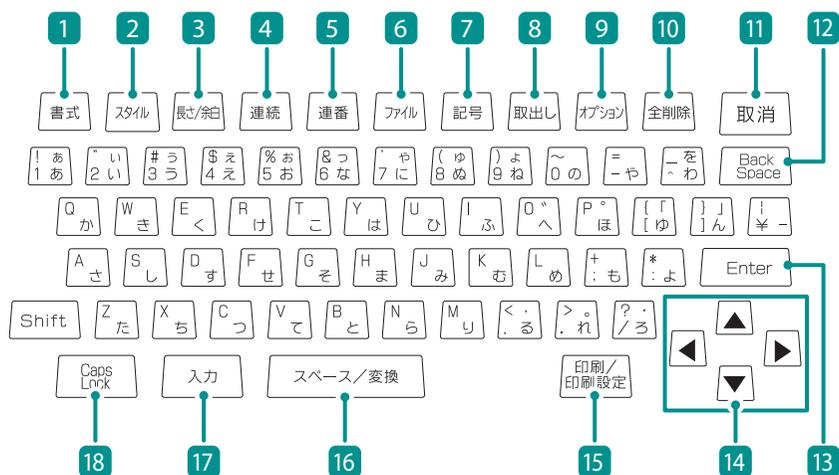
13	[ウォーマー] キー	チューブウォーマー（オプション）の制御設定を切り替えます。 (→ P.15)
14	[設定] キー	すべての機能を、このキーから設定することができます。
15	[全削除] キー	入力中の文字や設定を削除します。
16	[Ins] キー	挿入モードと上書きモードを切り替えます。(→ P.14)
17	[Del] キー	カーソル上の文字を削除します。
18	[取消] キー	印刷中に押すと、印刷を中止して印字媒体をカットしたあとに停止します。また、2秒以上長押しすると、カットをせずに停止します。各機能の操作中はその操作が取り消されます。また、[Shift] を押しながらこのキーを押すと、文字入力画面に戻ります。
19	[Back Space] キー	カーソル位置の左側の文字を削除します。
20	[Enter] キー	未確定の文字の入力や選択した項目を確定します。文字の入力を確定した後に押すと、カーソル位置で改ページします。
21	[▲][▼][◀][▶] (矢印キー)	カーソルや項目の選択箇所を上下左右に移動します。文字入力画面で[Shift] を押しながらこのキーを押すと、前後のページに移動します。
22	[印刷] キー	印刷設定画面を表示して表示中のデータを印刷することができます。
23	[カット設定] キー	印刷時のカットのしかたを設定します。
24	[補正] キー	印刷位置やカット長の微調整およびカッターの調整を行います。 (→ P.44)
25	スペースキー	スペースを入力します。また、未確定のひらがなの入力を漢字に変換します。
26	[英数/ローマ字/ひらがな] キー	文字の入力方式を切り替えます。(→ P.14)
27	[記号] キー	記号の入力または漢字を区点コード入力するときに使用します。選択した未確定の記号や漢字は、[Alt] + [Enter] キーで確定させます。
28	[取出し] キー	チューブやラベルテープを本体から取り外すときに使用します。
29	[Caps Lock] キー	キーを押してから英数字を入力すると大文字になります。また、未確定のひらがなをカタカナに変換するときにも使用します。

メモ

- 本書では、[Shift]（または[Alt]）を押しながら目的のキーを押す操作を以下のように表記します。
例：[Shift] + [取消] キー

MK3000 キーボード

各機能キーから設定できる機能については「MK3000 機能一覧 (P.52)」を参照してください。



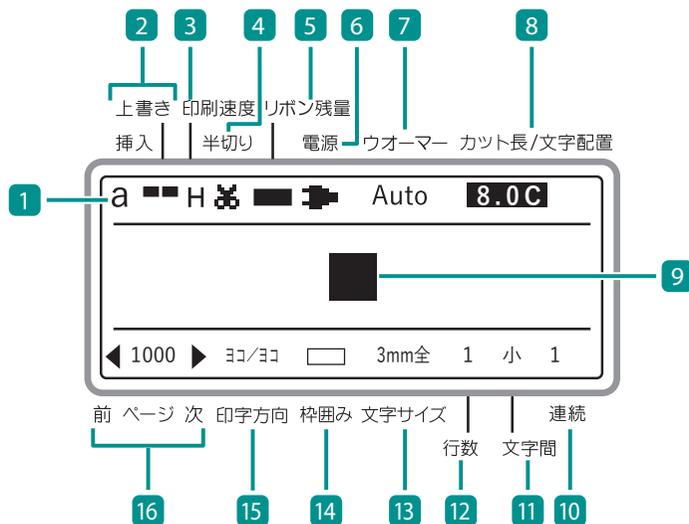
1	〔書式〕キー	印刷 / 文字入力の向き、文字に枠を設定します。
2	〔スタイル〕キー	文字サイズ、行数、文字の間隔を指定します。
3	〔長さ / 余白〕キー	1 ページの長さ、文字配置、余白を指定します。
4	〔連続〕キー	ページの繰り返し印刷を設定します。
5	〔連番〕キー	文字に連番を設定します。
6	〔ファイル〕キー	データの保存 / 呼び出しを設定します。
7	〔記号〕キー	記号の入力または漢字を区点コード入力するときに使用します。 選択した未確定の記号や漢字は、〔Shift〕 + 〔Enter〕キーで確定させます。
8	〔取出し〕キー	チューブやラベルテープを本体から取り外すときに使用します。
9	〔オプション〕キー	すべての機能を、このキーから設定することができます。
10	〔全削除〕キー	入力中の文字や各機能の設定を削除します。
11	〔取消〕キー	印刷中に押すと、印刷を中止して印字媒体をカットしたあとに停止します。また、2 秒以上長押しすると、カットをせずに停止します。各機能の操作中はその操作が取り消されます。また、〔Shift〕を押しながらこのキーを押すと、文字入力画面に戻ります。
12	〔Back Space〕キー	カーソル位置の左側の文字を削除します。

13	[Enter] キー	未確定の文字の入力や選択した項目を確定します。文字の入力を確定した後に押すと、カーソル位置で改ページします。
14	[▲][▼][◀][▶] (矢印キー)	カーソルや項目の選択箇所を上下左右に移動します。文字入力画面で [Shift] を押しながらこのキーを押すと、前後のページに移動します。
15	[印刷] キー	印刷設定画面を表示して表示中のデータを印刷することができます。
16	スペースキー	スペースを入力します。また、未確定のひらがなの入力を漢字に変換します。
17	[入力] キー	文字の入力方式を切り替えます。
18	[Caps Lock] キー	キーを押してから英数字を入力すると大文字になります。また、未確定のひらがなをカタカナに変換するときにも使用します。

メモ

- 本書では、[Shift] を押しながら目的のキーを押す操作を以下のように表記します。
例：[Shift] + [取消] キー

ディスプレイの見かた



<p>1 文字の入力方式</p>	<p>文字の入力方式の設定を表示します。 a…英数字（小文字） A…英数字（大文字） R…ローマ字 ひ…かな カ…カタカナ</p>
<p>2 挿入 / 上書き （MK5000 のみ）</p>	<p>挿入モード / 上書きモードの設定を表示します。</p>
<p>3 印刷速度</p>	<p>印刷速度の設定を表示します。 H…高速 M…中速（MK5000 のみ） L…低速</p>
<p>4 半切り</p>	<p>チューブやラベルテープの間に切り込みを入れる設定を以下のマークで表示します。</p> <p>✂ …半切りします。</p> <p>— …半切りしません。カットラインが実線で印刷されます。</p> <p>⋮ …半切りしません。カットラインが点線で印刷されます。</p> <p>（表示なし） …半切りしなく、カットラインも印刷されません。</p>
<p>5 リボン残量</p>	<p>インクリボンの残量をマークで表示します。</p> <p>■（残量あり） …残量 10%ごとに表示が変化します。残量が少なくなったときは、新しいリボンカセットをご用意ください。</p> <p>□（残量なし） …リボンカセットがセットされていない、または情報が読み取れません。</p> <p>（表示なし） …リボンカセットがセットされていない、または情報が読み取れません。</p>
<p>6 電源</p>	<p>使用している電源を以下のマークで表示します。</p> <p>⏻ …ACアダプターを使用しています。</p> <p>🔋（残量あり） …電池を使用しており、電池の残量をマークで表示します。</p> <p>⏻（残量なし） …十分に充電されていない電池をセットすると、残量を正しく表示できない場合があります。）</p>

<p>7 ウォーマー</p>	<p>チューブウォーマー（オプション）の設定を表示します。</p> <p>Auto … 印刷時のみ、チューブを温めます。印刷を実行すると、設定温度までチューブを温めたあと印刷を開始します。</p> <p>RDY … 印刷時以外もチューブを温めます。印刷を実行すると、すぐに印刷を開始します。設定温度の調整時は「WAI」が表示されます。</p> <p>OFF … チューブウォーマーの設定を無効にします。 （表示なし）… チューブウォーマーはセットされていません。</p>
<p>8 カット長 / 文字配置</p>	<p>現在のページのチューブ 1 本（ラベル 1 枚、記名板はカットライン間）の長さ（カット長）、文字配置、余白量の設定を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • カット長「自動」の場合（設定値が反転表示されます） <p>カット長 (mm) 文字配置  （センタリング「C」を表示）</p> <ul style="list-style-type: none"> • カット長「指定」の場合 （均等配置、記名板印字エリア「拡張」は MK5000 のみ） <p>カット長 (mm) 文字配置  （センタリング「C」、左寄せ「L」、右寄せ「R」、均等配置「E」を表示） 余白 (mm) （記名板印字エリア「拡張」のときは「E」を表示）</p>
<p>9 カーソル</p>	<p>■で示す位置に文字が入力されます。</p>
<p>10 連続</p>	<p>現在のページの繰り返し印刷回数を表示します。</p>
<p>11 文字間</p>	<p>現在のページの文字間隔の設定を表示します。</p>
<p>12 行数</p>	<p>現在のページの行数の設定を表示します。</p>
<p>13 文字サイズ</p>	<p>現在のページの文字サイズの設定を表示します。</p>
<p>14 枠囲み</p>	<p>現在のページの枠の設定を表示します。</p>
<p>15 印刷方向</p>	<p>現在のページの印刷の向きと文字の方向の設定を表示します。</p>
<p>16 ページ</p>	<p>現在のページのページ番号を表示します。「◀」「▶」は現在のページの前後にページがある場合に表示されます。</p>

メモ

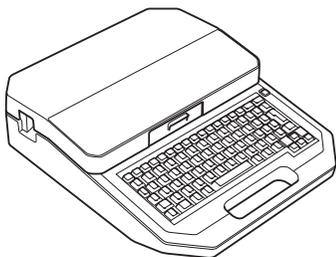
- 本製品では、チューブ 1 本（ラベル 1 枚、記名板はカットライン間）に印刷する文字列を 1 ページに作成します。[Enter] キーを押すと新しいページが作成されます。（改ページ）ページの操作および編集について詳しくは、ユーザズガイドを参照してください。

お使いになる前に

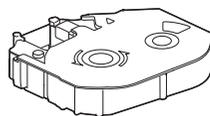
同梱品の確認

以下の同梱品がすべてそろっていることを確認してください。

- プリンター本体



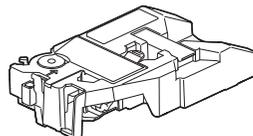
- リボンカセット黒（40 m）



- AC アダプター（PR-TP001）



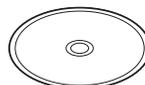
- チューブアタッチメント



- 電源コード



- MK デスクトップ・ユーティリティ (CD-ROM)
*MK5000 のみ



- 基本操作ガイド（本書）

- 安全データシート（SDS）

- 保証登録のお願い

📖 メモ

- ・ チューブやラベルテープカセットなどの印字媒体は同梱していません。使用可能な印字媒体について詳しくは、「仕様」の「**印字媒体（P.49）**」を参照してください。
- ・ 本製品には USB ケーブルは付属していません。「MK デスクトップ・ユーティリティ」（MK5000 のみ対応）をお使いになる場合は市販の USB ケーブル（A-B タイプ）を用意してください。
- ・ 記名板およびフラットチューブ（扁平形）を使用する場合は、記名板・フラットチューブアタッチメント（オプション）が必要となります。（記名板への印刷は MK5000 のみ対応しています。）
- ・ 本製品の消耗品やオプションについては、「消耗品、オプション一覧」を参照してください。（→ P.54）
- ・ 購入時の箱および箱内の包装材は本製品の保管や輸送のときに必要となりますので、捨てないで保管してください。

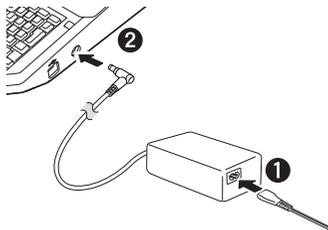
電源の準備

■ AC アダプターを使用する

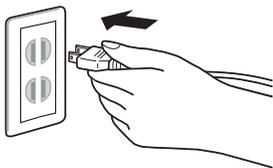
⚠ 注意

- 必ず同梱の AC アダプターと電源コードをご使用ください。

- 1 電源コードと AC アダプターを接続して、AC アダプターのプラグを本体に差し込む



- 2 電源プラグをコンセントに差し込む



■ 電池を入れて使用する

屋外など、電源が取れない場所では電池を使って使用することができます。

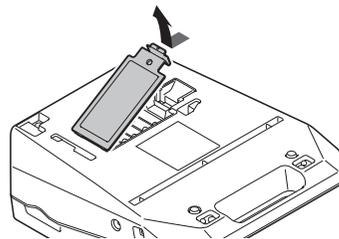
⚠ 注意

- 必ず、満充電にした「エネループ (eneloop) 単 3 形スタンダードモデル」(品番: BK-3MCC) を使用してください。それ以外の電池は使用しないでください。火災、故障やけがの原因となることがあります。

- 1 「エネループ (eneloop) 単 3 形スタンダードモデル」6 本を用意する (別売り)

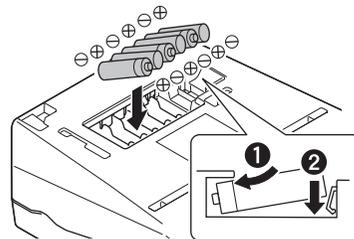
- 2 AC アダプターが接続されている場合は、AC アダプターを取り外す

- 3 電池カバーを外す



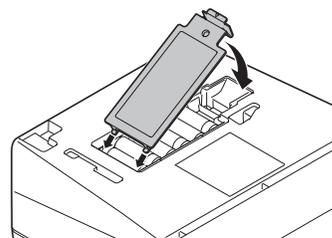
- 4 電池を入れる

- 図のように、①電池の端子部分を本体に入れて②押し込みます。
- 電池の向き⊕⊖に注意してセットします。



- 5 電池カバーを取り付ける

- 電池カバーと本体の間にすきまができないよう「カチッ」と音がするまで押し込んで、完全に閉めてください。



基本的な使いかた

操作の流れ

1. リボンカセットをセットする (→ P.19)



2. 印字媒体をセットする (→ P.20)

- ・ チューブ / 記名板のとき (→ P.20)
- ・ ラベルテープカセット / ラップアラウンドテープカセットのとき (→ P.22)



3. 電源を入れる (→ P.22)



4. 文字を入力する (→ P.23)



5. 印刷する (→ P.25)



6. データを保存する (→ P.27)



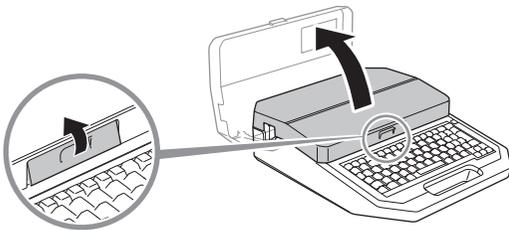
7. 電源を切る (→ P.28)

1. リボンカセットをセットする

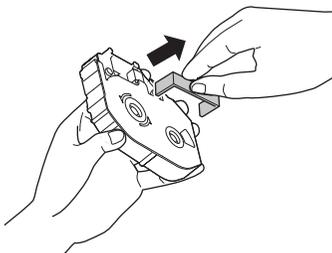
✓ 重要

- ・ 記名板に印刷する場合は、リボンカセット（黒・40 m）をお使いください。リボンカセット（黒・150 m）、リボンカセット（白・85 m）では正しく印刷できない可能性があります。
- ・ 記名板への印刷は MK5000 のみ対応しています。

1 カバーを開ける

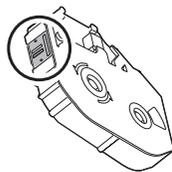


2 リボンカセットの梱包材を取り外す

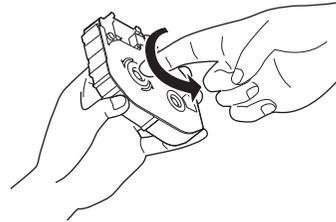


✓ 重要

- ・ リボンカセットの IC チップには触れないでください。リボンカセットの情報が読み取れなくなることがあります。



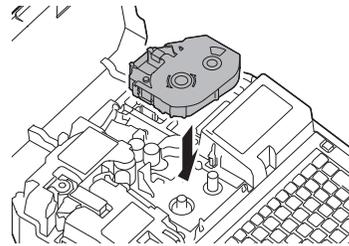
3 リボンのたるみを取る



✓ 重要

- ・ リボンがたるんでいると正しく動作しないことがあります。

4 リボンカセットを取り付ける



- まっすぐに差し込み、カチッと音がするまでしっかりと押します。

✓ 重要

- ・ リボンカセットが浮いていると正しく動作しないことがあります。

2. 印字媒体をセットする

■ チューブ / 記名板のとき

✔ 重要

- 汚れたチューブや記名板には印刷できません。汚れやゴミを乾いた布でふき取ってください。また、油などのふき取れない汚れがついたものは使用しないでください。

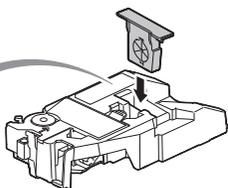
📖 メモ

- チューブ（キープチューブを除く）および記名板は市販品をお求めください。使用可能なサイズについては、「仕様」の「印字媒体（P.49）」を参照してください。
- 記名板への印刷は MK5000 のみ対応しています。

1 アタッチメントを準備する

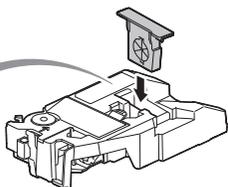
- チューブ（丸形）の場合
同梱のチューブアタッチメントにクリーナー（青色）を取り付けて使用します。

Tube Attachment
チューブアタッチメント

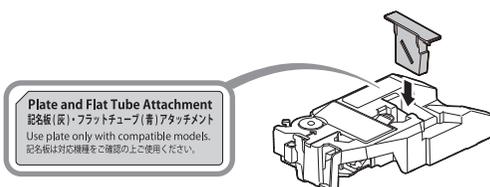


- フラットチューブ（扁平形）の場合
記名板・フラットチューブアタッチメント（オプション）にクリーナー（青色）を取り付けて使用します。

Plate and Flat Tube Attachment
記名板・フラットチューブ（青）アタッチメント
Use plate only with compatible models.
記名板は対応機種をご確認の上ご使用ください。

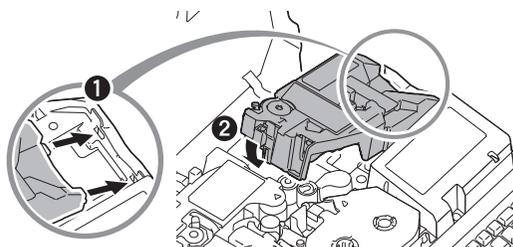


- 記名板の場合
記名板・フラットチューブアタッチメント（オプション）に記名板用クリーナー（灰色）を取り付けて使用します。



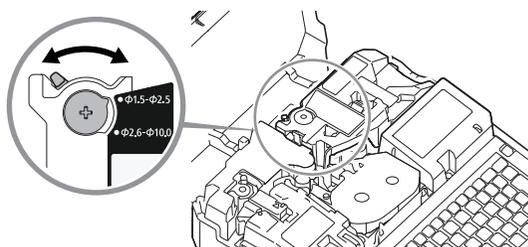
2 アタッチメントをセットする

- アタッチメントの取り付け部分を、本体の差し込み口に合わせ、カチッと音がするまでしっかりと押し込みます。



3 サイズ切り替えレバーをチューブのサイズ（または記名板のサイズ）に合わせて設定する

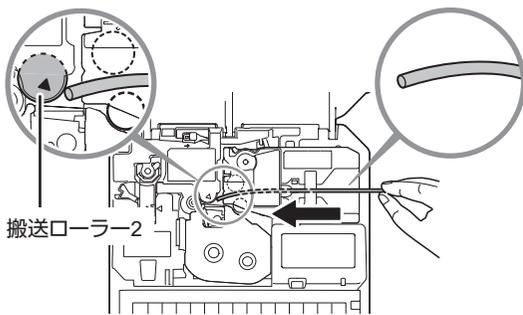
- 記名板の場合は、「φ 2.6mm~ φ 10.0mm」に設定します。



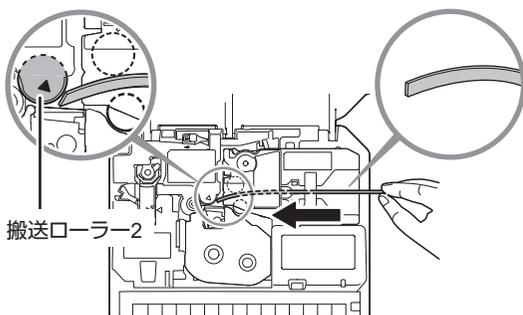
4 チューブ（または記名板）をセットする

- チューブ（または記名板）の先端を、図のような向きで挿入口に差し込み、搬送ローラー2に突き当たるまで押し込みます。

チューブ（丸形）の場合：

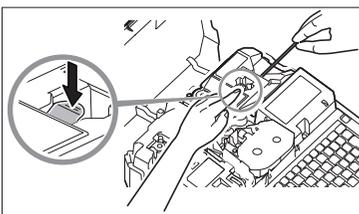


フラットチューブ（扁平形）、記名板の場合：



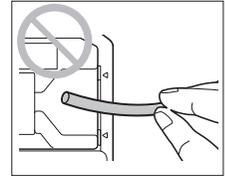
📖 メモ

- チューブ（または記名板）の先端をアタッチメント内に通しにくい場合は、チューブ押さえレバーを指で押しながらセットします。



✔ 重要

- チューブ（または記名板）の先端を図のような方向で差し込むと、印刷中にチューブ（または記名板）がつかまつたり、印刷が欠けたり、カット位置がずれたりすることがあります。
- 巻きぐせなどでチューブ（または記名板）の先端が曲がっている場合は、まっすぐになるように直す、またはその部分を切り取ってから本体にセットしてください。
- 印刷中に印字媒体がなくなったり、短くなった印字媒体が本体内部でつまったりすることを防ぐために、十分な長さのチューブ（または記名板）をセットしてご使用ください。
- チューブ（または記名板）が正しくセットされていない場合、搬送ローラーに印刷してしまうことがあります。

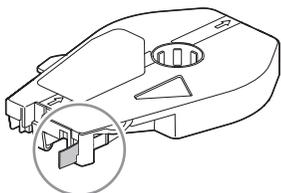


5 カバーを閉める

■ ラベルテープカセット / ラップアラウンドテープカセットのとき

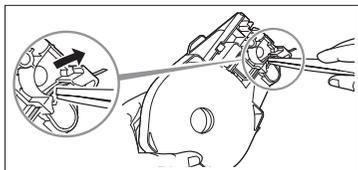
1 カセットの状態を確認する

- はく離紙が浮いている部分や先端がそろっていない部分はカットしてください。
- 図のようにテープの先端を 5mm ~ 7mm 程度引き出してください。



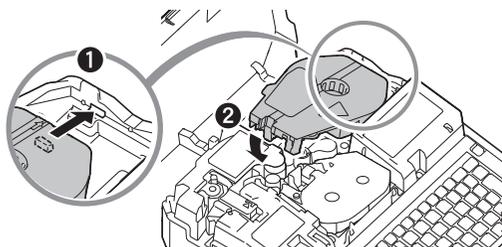
メモ

- テープがカセットの中に入ってしまった場合は、図のように、ピンセットなどでテープの先端を引き出してください。



2 カセットをセットする

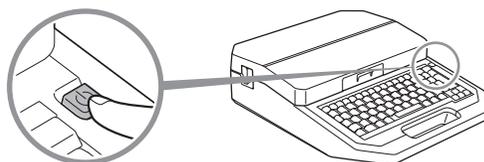
- カセットの取り付け部分を、本体の差し込み口に合わせ、カチッと音がするまでしっかりと押し込みます。



3 カバーを閉める

3. 電源を入れる

1 電源キーを 1 秒以上長押しする



- 電源が入ると、以下のように表示されます。

(起動画面)

● MK5000 の場合

● MK3000 の場合

MK5000
CABLE ID PRINTER

MK3000
CABLE ID PRINTER

(リボンカセット情報画面)

リボン種別
黒 40m

(文字入力画面)

a - H ✖ 8.0C
0001 30/30 3mm全 1 小 1

メモ

- 前回電源を切ったとき (または自動的に切れたとき) に表示していたデータがある場合は、データの消去を確認する画面が表示されます。[はい] をクリックすると、データが消去された状態で文字入力画面が表示されます。

編集中的数据が残っています。
消去しますか?
はい いいえ

4. 文字を入力する

【例】 次のようなチューブを2セット作成する
(φ 4.0mm チューブを使用)



1 英数字入力にする (ディスプレイに「a」を表示)



- 文字の入力方式を切り替えるときは、次のように操作します。「a (英数字入力) → R (ローマ字入力) → ひ (かな入力) の順番で入力方式が変わります。

MK5000 の場合：

「英数 / ローマ字 / ひらがな」キーを数回押しして選びます。

MK3000 の場合：

「入力」キーを数回押しして選びます。

2 「A1」と入力する

- [Shift] + [A]、[1] の順に入力します。



メモ

- 大文字を入力するときや、キーの上段に表示されている文字を入力するときは、[Shift] を押しながら目的のキーを押します。
- 入力を間違えた場合は、[Back Space] キーで文字を削除して、正しい文字を入力します。

3 [Enter] キーを押す

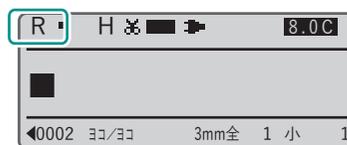
- 新しいページが作成されます。



メモ

- 本製品では、チューブ1本 (ラベル1枚、記名板はカットライン間) に印刷する文字列を1ページに作成します。[Enter] キーを押すと新しいページが作成されます。(改ページ) ページの操作および編集について詳しくは、ユーザーズガイドを参照してください。
- 現在表示されているページの前 / 後に別のページが存在するときは画面の左下に [◀] / [▶] が表示されます。前 / 後のページに表示を切り替えるときは [Shift] + [◀] (前) / [▶] (後) を押しします。
- ページの操作および編集について詳しくは、ユーザーズガイドを参照してください。

4 ローマ字入力にする (ディスプレイに「R」を表示)



MK5000 の場合：

「英数 / ローマ字 / ひらがな」キーを数回押しして選びます。

MK3000 の場合：

「入力」キーを数回押しして選びます。

5 「ぼんぷ」と入力する

- [P]、[O]、[N]、[N]、[P]、[U] の順に入力します。



- かな入力とローマ字入力では、画面表示が変わり、上の行が確定された文字、下の段が未確定の文字となります。

6 [Caps Lock] キーを押す

- ひらがながカタカナに変換されます。



7 [Enter] キーを押す

- 「ポンプ」が確定されます。



8 「しつ」と入力する

- [S]、[I]、[T]、[U] の順に入力します。



9 スペースキーを押す

- 「しつ」の漢字候補が表示されます。



10 [◀] または [▶] を押して「室」を選ぶ



11 [Enter] キーを押す

- 「室」が確定されます。



メモ

- 入力中の全ページの文字をすべて削除するときは [全削除] キーを押します。
 - 「文字のみ」を選択し、[Enter] キーを押すと最終ページの設定を残して、全ページの文字を削除します。



- 文字の入力および編集について詳しくは、ユーザーズガイドを参照してください。

5. 印刷する

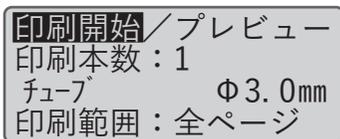
【例】 次のようなチューブを2本印刷する
(ϕ 4.0mm チューブを使用)



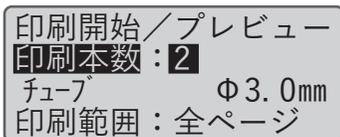
1 「印刷」キーを押す

- 以下の画面が表示されます。

(印刷設定画面)

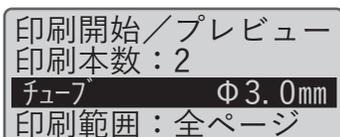


2 [▼] で「印刷本数」を選び、[2] と入力する

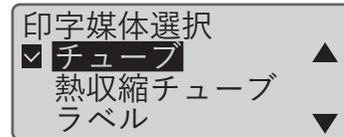


- 数字キーまたは矢印キー（[◀]/[▶]）にて入力します。入力を間違えた場合は、[Back Space] キーを押して削除します。
- 印刷本数は、1~10（本）の範囲で指定できます。
- この操作で2ページ分のデータが2回印刷されます。

3 [▼] で「チューブ ϕ 3.0mm」を選び、[◀]、[▶] または [Enter] キーを押す



4 [▲] または [▼] で「チューブ」を選び、[Enter] キーを押す



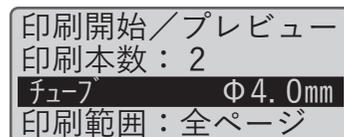
メモ

- 印字媒体は、「チューブ」、「熱収縮チューブ」、「ラベル」、「透明チューブ」、「記名板」（MK5000のみ）、「キープチューブ」、「フラットチューブ」「ラップアラウンド」より選びます。

5 [▲] または [▼] で「 ϕ 4.0mm」を選び、[Enter] キーを押す



- 印刷設定画面に戻ります。

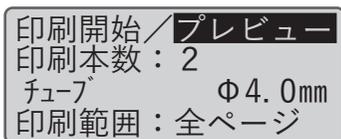


- 手順4で「ラップアラウンド」を選んだ場合、サイズ選択画面は表示されません。

重要

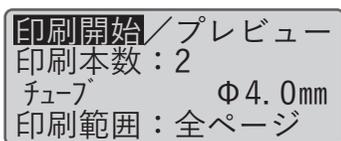
- 次のような場合は、印刷中にチューブがなくなったことを検知できないため、搬送ローラーに印刷してしまう可能性があります。チューブが印刷中になくなる長さであることを確認してから印刷を開始してください。
 - チューブサイズが「 ϕ 1.5mm」の場合
 - 印字媒体を「透明チューブ」に設定した場合

- 6 [▲]で「印刷開始」まで戻る。[▶]で「プレビュー」を選び、[Enter]キーを押す



- 印刷イメージが、右から左に流れて表示されます。
- [▲]または[▼]を押している間は表示が止まります。
- [◀]を押し続けると早送りして表示します。
- [▶]を押すと次のページを表示します。
- [取消]キー押すとプレビュー表示を中止します。
- プレビュー表示が終わると印刷設定画面に戻ります。

- 7 [◀]で「印刷開始」を選び、[Enter]キーを押す



MK5000の場合：

印刷を開始します。手順9に進みます。

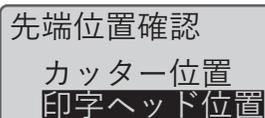
MK3000の場合：

手順8に進みます。

📖 メモ

- チューブの種類によっては、チューブを検知できない場合があります。このときは、印刷設定の印字媒体を「透明チューブ」に設定して印刷してください。

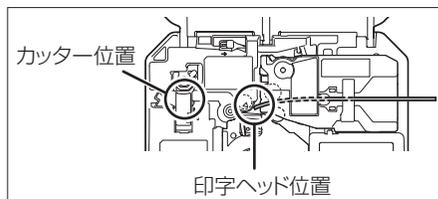
- 8 (MK3000の場合のみ)
[▲]または[▼]で「印字ヘッド位置」を選び、[Enter]キーを押す



- 印刷を開始します。

✔ 重要

- セットされている印字媒体の先端位置を確認して、「カッター位置」または「印字ヘッド位置」を選択します。印字媒体をセットした直後の印刷は「印字ヘッド位置」となります。

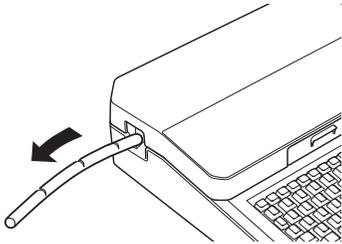


- 先端位置の設定が誤っていると、搬送ローラーに印刷してしまったり、先端の余白が多くなってしまったりする場合があります。
- 先端位置を設定したあと、以下の場合には「先端位置確認」画面は再表示されません。
 - カバーを開けなかったとき
 - 電源を切らなかったとき
 - 印刷設定にて、印字媒体の種類やサイズを変更しなかったとき
 - フィード機能および取り出し機能を使わなかったとき

📖 メモ

- 印刷を中止するときは、[取消]キーを押してください。(→P.10)

9 チューブを取り出す



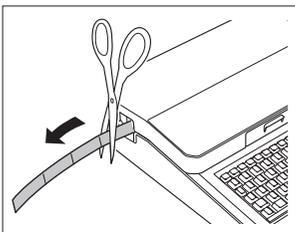
- 印刷が終わると、チューブが自動的にカットされます。(全切り) また、チューブとチューブの間には切り込み(半切り)が入るので、手でカットすることができます。

重要

- 印刷したあとは、印字媒体の反りや変形を防ぐため、本体から印字媒体を取り外してください。

メモ

- 初期設定では、「記名板全切り設定」が「しない」に設定されているため、記名板に印刷した場合は印刷後にカットされません。はさみ等でカットしてください。また、記名板には切り込み(半切り)が入りません。カット設定について詳しくは、ユーザーズガイドを参照してください。



- 印刷したラップアラウンドテープの取り扱いについては、ユーザーズガイドまたはラップアラウンドテープカセットに同梱の取扱説明書を参照してください。
- 先端部分(印刷開始位置から約 60 mm)の印刷は、印刷位置やカット長がばらつくことがあります。ばらつきが気になる場合は、印字媒体節約搬送モードの設定を「オフ」に設定して印刷してください。印字媒体節約搬送モードについて詳しくは、ユーザーズガイドを参照してください。

6. データを保存する

作成したデータを「ファイル」としてプリンター内に登録できます。

【例】作成したデータを「A-1」のファイル名で「フォルダー 1」に保存する

1 「ファイル」キーを押す

2 「保存」を選び、[Enter] キーを押す

ファイル操作
保存
呼出し
削除

3 「フォルダー 1」を選び、[Enter] キーを押す

フォルダー選択
フォルダー 1 ▲
フォルダー 2
フォルダー 3 ▼

4 「A-1」と入力し、[Enter] キーを押す

- 文字の入力方式を英数字(ディスプレイに「a」を表示)にして、[A]、[-]、[1]の順に入力します。

a ■
ファイル名入力
A-1 ■

- ファイル名は 8 文字まで入力できます。
- 文字の入力方式を切り替えるときは、次のように操作します。

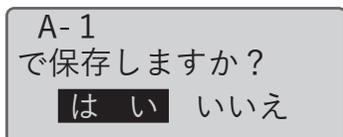
MK5000 の場合：

[英数/ローマ字/ひらがな] キーを数回押しして選びます。

MK3000 の場合：

[入力] キーを数回押しして選びます。

5 「はい」を選び、[Enter] キーを押す



- 「保存中…」が表示されたあと、文字入力画面に戻ります。

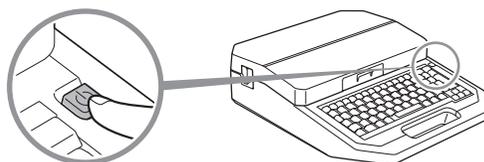


メモ

- フォルダは 10 個用意されており、1 個のフォルダには 99 ファイルまで保存できます。
- ファイル機能について詳しくは、ユーザズガイドを参照してください。

7. 電源を切る

1 電源キーを 1 秒以上長押しする



- 「シャットダウン中…」が表示されたあと、電源が切れます。

2 電源プラグをコンセントから抜く

重要

- 電源が完全に切れるまで電源プラグを抜かないでください。
- 長期間ご使用にならない場合は、電源コード、AC アダプター、USB ケーブルおよび電池を本体から取り外してください。

メモ

- 本製品は、印刷を行わずに一定の時間が経過した場合に、自動的に電源を切る機能があります。本機能の初期設定値は以下のとおりです。

(初期設定値)

AC アダプター使用時：30 分

電池使用時：30 分

パソコンを使った印刷（MK5000のみ）

本製品専用のアプリケーションソフトウェア「MK デスクトップ・ユーティリティ」を使うと、パソコンで文字の入力や編集を行うことができます。

ソフトウェアのインストール

アプリケーションソフトウェア「MK デスクトップ・ユーティリティ」と MK5000 プリンタードライバをインストールします。

重要

- MK デスクトップ・ユーティリティとプリンタードライバの動作環境については、「**ソフトウェアの動作環境（MK5000のみ）（P.49）**」を参照してください。
- 管理者権限のユーザーでログオンしてください。
- ウィルス検出プログラムやシステムに常駐するプログラムは、あらかじめ終了してください。
- プリンターとパソコンが USB ケーブルで接続されている場合は、プリンターの電源を切るか、接続している USB ケーブルを抜いてください。
- 本製品には USB ケーブルは付属していません。市販の USB ケーブル（A-B タイプ）を用意してください。

1 同梱の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする

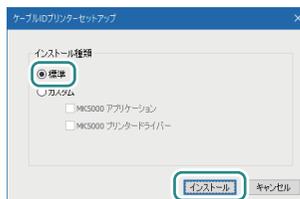
- [ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示されたときは、[はい] をクリックします。

メモ

- 「自動再生」画面が表示されたときは、[setup.exe の実行] をクリックします。CD-ROM が自動で起動しない場合は、CD-ROM ドライブ内の「setup.exe」ファイルをダブルクリックします。
- 最新の「MK デスクトップ・ユーティリティ」と MK5000 プリンタードライバは、キヤノンホームページ（canon.jp/download）からダウンロードできます。

2 インストールの種類を選び、[インストール] をクリックする

- はじめて本ソフトウェアをインストールする場合は、「標準」を選びます。



3 画面の案内に従って、インストールする

- 「MK デスクトップ・ユーティリティ」→プリンタードライバの順にインストールウィザードが起動しますので、画面の案内に従って操作を進めてください。
- インストール言語は「日本語」を選びます。「英語」を選ぶと、英語のアプリケーションソフトウェアがインストールされます。

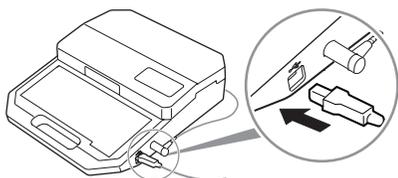


- 次の画面が表示された場合は、["CANON FINETECH NISCA INC." からのソフトウェアを常に信頼する] にチェックマークを入れて、[インストール] をクリックします。



- インストール後は、本製品を使用する前に必ずパソコンを再起動してください。

- 4 パソコンを再起動したら、USB ケーブルでプリンターとパソコンを接続する

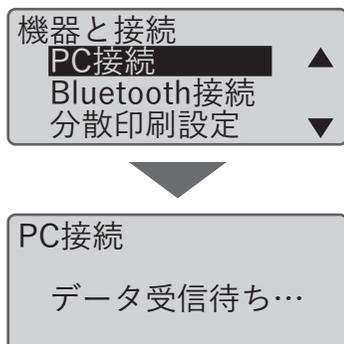


- 5 プリンターの電源を入れる (→ P.22)

- 6 [接続] キーを押す

- 7 「PC 接続」を選び、[Enter] キーを押す

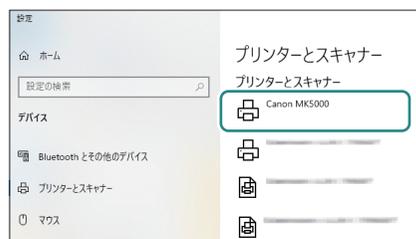
- 「データ受信待ち…」と表示されて、パソコンから印刷できる状態になります。



- 8 パソコンのタスクバーの[検索]アイコンをクリックして、検索ボックスに「プリンターとスキャナー」と入力する

- プリンターとスキャナーの設定画面が表示されます。

- 9 MK5000 プリンタードライバーがインストールされていることを確認する



以上で、ソフトウェアのインストールは完了です。

📖 メモ

- 1 台のパソコンに本製品を複数台接続して使う場合は、その台数分のプリンタードライバーが必要です。詳しくは、ユーザーズガイドを参照してください。

パソコンとの接続

パソコンから印刷を行うときは、本製品の設定を「PC 接続」に切り替えて使用します。

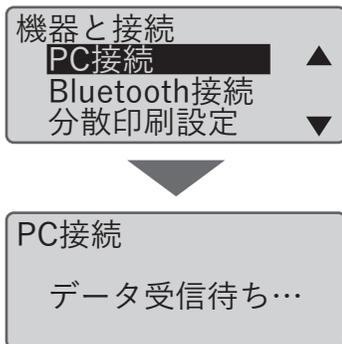
1 USB ケーブルでプリンターとパソコンを接続する

2 プリンターの電源を入れる（→P.22）

3 「接続」キーを押す

4 「PC 接続」を選び、[Enter] キーを押す

- 「データ受信待ち…」と表示されて、パソコンから印刷できる状態になります。

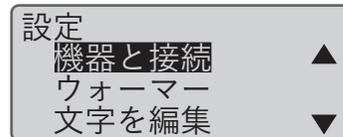


メモ

- プリンターのキーボードから操作するときは、PC 接続状態を解除します。プリンターのディスプレイに「受信中」が表示されていないことを確認してから、[取消] キーを押してください。
- [接続] キーを押したときの機能を変更することができます。よく使う接続を [接続] キーに割り当てておくと、簡単に接続状態を切り替えることができます。
(初期設定値は「PC/Bluetooth 選択」に設定されています。)

【例】[接続] キーを押すと、PC 接続状態になるように設定する

- [設定] キーを押します。
- 「機器と接続」を選び、[Enter] キーを押します。



- [▼] で「接続キー 設定」を選び、[Enter] キーを押します。



- [▲] または [▼] で「PC 接続」を選び、[Enter] キーを押します。



- [Shift] + [取消] キーを押します。文字入力画面に戻ります。

MK デスクトップ・ユーティリティを使って印刷する

ここでは基本的な印刷手順について説明します。詳しい操作方法については、ユーザーズガイドを参照してください。

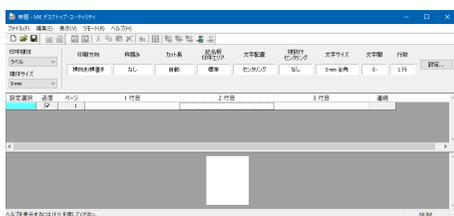
1 MK デスクトップ・ユーティリティを起動する

- デスクトップの [MK デスクトップ・ユーティリティ] ショートカットアイコン



をダブルクリックします。

- 起動すると、メイン画面が表示されます。

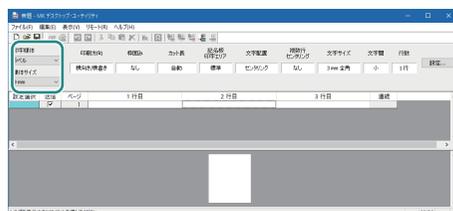


重要

- 次の画面が表示された場合は、プリンタードライバーのインストール操作が完了していません。「ソフトウェアのインストール」手順 4~8 (→ P.30) を操作してください。

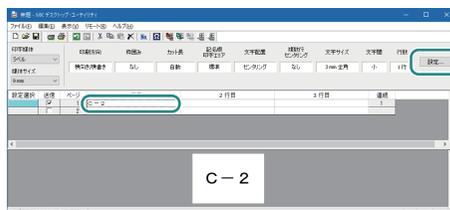


2 印字媒体と媒体サイズを指定する



3 文字を入力する

- 文字サイズや行数などの書式を変更する場合は、[設定] (書式設定) をクリックします。(書式設定は、データリスト上で右クリックして表示されるメニューからも選択できます。)

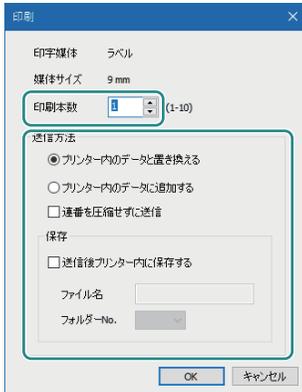


4 リボンカセットと印字媒体をセットする (→ P.19)

5 USB ケーブルでプリンターとパソコンを接続し、プリンターをPC接続状態に切り替える (→ P.31)

6 (印刷) をクリックする

7 印刷の本数と送信方法を指定する



- 送信方法は以下より選びます。

【プリンター内のデータと置き換える】

手順3で入力したデータを印刷したい場合に選びます。

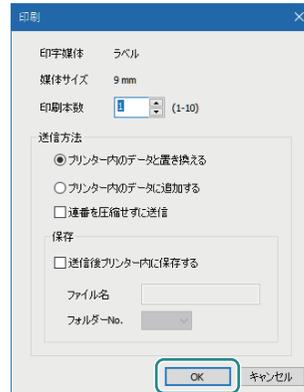
【プリンター内のデータに追加する】

直前に送信したデータは、印刷が完了したあともプリンター内の文字入力画面上に保持されます。プリンター内に保持されているデータに、手順3で入力したデータを追加して印刷したい場合に選びます。追加分のデータは、プリンター内のデータの最終ページの後に追加されます。

- 印刷と同時に印刷データをプリンター内のフォルダーに保存する場合は、「送信後にプリンター内に保存する」にチェックを入れて、【ファイル名】と【フォルダー No】を指定します。ファイル名は8文字まで入力できます。

8 【OK】をクリックする

- 送信方法に従いプリンター内の文字入力画面上にデータを作成したあと、印刷を開始します。



メモ

- 印刷が完了したあとも文字入力画面上のデータは保持されます。最後に印刷したデータを再度印刷するときは、以下の手順で操作します。

- 1) 【リモート】メニューから【プリンター内のデータを印刷】を選びます。



- 2) 【OK】を押します。

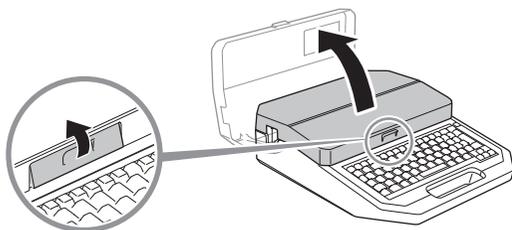


こんなときには

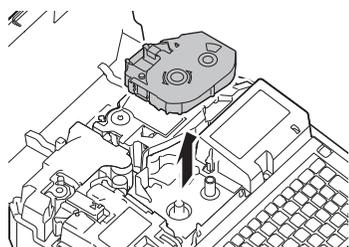
リボンカセットを交換したい

印刷中に「リボン終了」のメッセージが表示されたら、新しいリボンカセットに交換してください。

1 カバーを開ける



2 使用済みのリボンカセットを取り外す



3 新しいリボンカセットに交換する (→ P.19)

- リボンカセットを交換したあと、[Enter] キーを押すと、中断したページから印刷を再開します。

✓ 重要

- 使用済みのリボンカセット（主にプラスチック）は以下に従って処分してください。
企業でお使いの場合：
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）」に従って処分してください。
一般家庭でお使いの場合：
地域の条例に従って処分してください。

印字媒体を交換したい

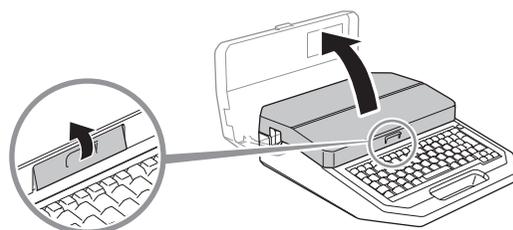
本体にセットされている印字媒体を別のものに交換する場合は、以下の手順で取り外します。

📖 メモ

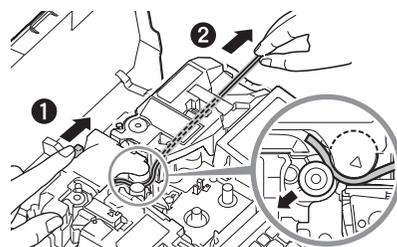
- 本製品で使用できる印字媒体については、「仕様」の「**印字媒体 (P.49)**」を参照してください。

■ 細いチューブ (φ 1.5 mm) の場合

1 カバーを開ける



2 図のように、ジャム解除レバーを矢印方向に押しながらチューブを引き抜く



3 印字媒体をセットする (→ P.20)

■ その他の印字媒体の場合

1 電源を入れる (→ P.22)

2 [取だし] キーを押す

- 以下の画面が表示されます。

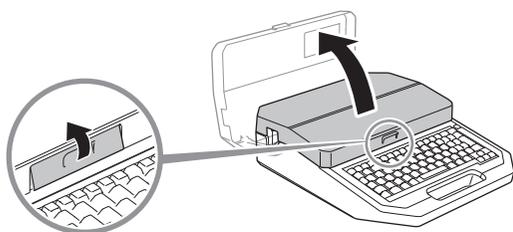
印字媒体を取出しますか？

はい いいえ

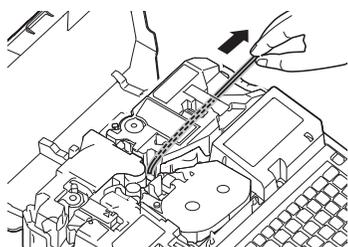
3 [◀] または [▶] で「はい」を選び、[Enter] キーを押す

- 印字媒体が逆送りされます。

4 カバーを開ける



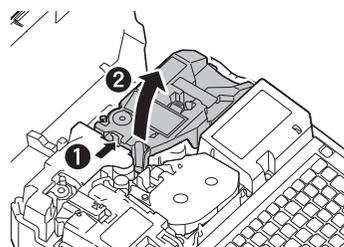
5 (チューブ、記名板のとき) チューブ (または記名板) を引き抜く



- この操作でチューブ (または記名板) が取り外せなかった場合は、カバーを閉めて、再度 [取だし] キーを押してください。

6 アタッチメント (またはカセット) を取り外す

- レバーを右に引きながら上に持ち上げて取り外します。



📖 メモ

- カセットは、テープのたるみを取った状態で保管してください。

7 印字媒体をセットする (→ P.20)

✔ 重要

- 印字媒体を逆送りすると、リボンカセットのリボンがたるむことがあります。リボンがたるんでいる場合は、リボンカセットを取り外してリボンのたるみを取ってください。(→ P.19)
- 柔らかいチューブの場合、[取だし] キーを使って逆送りするとチューブが傷ついてしまうことがあります。このような場合は、「**細いチューブ (φ 1.5 mm) の場合 (P.34)**」の手順に従ってチューブを取り出してください。

チューブやラベルテープが まったときは

本体内部で印字媒体がつまると、ディスプレイに「搬送エラー」のメッセージが表示され、印刷を中止します。以下に示す手順に従って印字媒体を取り除いてください。

搬送エラー

搬送路内に媒体が詰まっています。▼

メモ

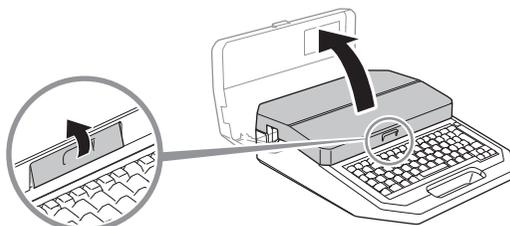
- 本体内部で印字媒体がつまっているのに、メッセージが表示されない場合は、[取消]キーを2秒以上長押しして印刷を中止したあと、手順2からの指示に従って印字媒体を取り除いてください。（この場合、手順に示すメッセージは表示されません）

1 「搬送エラー」のメッセージを確認したら、任意のキーを押す

- 画面に指示が表示されます。

カバーをあけてください。▼

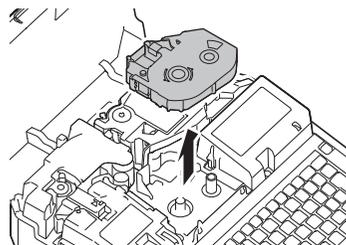
2 カバーを開ける



- カバーを開けると、画面に指示が表示されます。

リボンカセットを取り外してください。▼

3 リボンカセットを取り外す



- リボンが巻きついて取り外せない場合は、無理に外さないで、手順4へ進んでください。

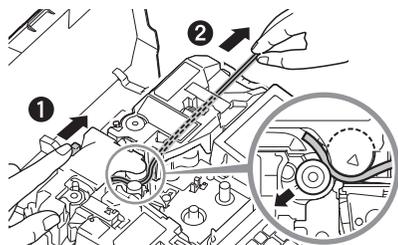
4 任意のキーを押す

- キーを押すと、画面に指示が表示されます。

ジャム解除レバーを押しながらプリンタ内の印字媒体を取り除いてください。▼

5 (チューブ / 記名板のとき)

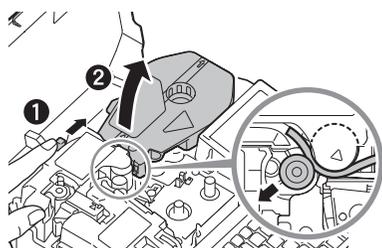
図のように、ジャム解除レバーを矢印方向に押しながらチューブ (または記名板) を引き抜く



- チューブ (または記名板) を引き抜けない場合は、ジャム解除レバーを矢印方向に押しながら、アタッチメントを取り外してください。
- 前手順でリボンカセットを取り外していないときは、リボンカセットを取り外してください。

(ラベルテープ / ラップアラウンドテープのとき)

図のように、ジャム解除レバーを矢印方向に押しながら、カセットを取り外す



- 前手順でリボンカセットを取り外していないときは、リボンカセットを取り外してください。

6 印字媒体 (またはカセット) を取り除いたら、任意のキーを押す

- キーを押すと、画面に指示が表示されます。

リボンカセットを戻して、カバーを閉めてください。

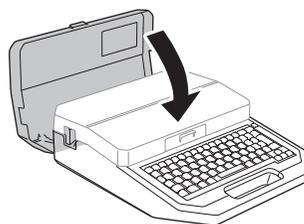
7 リボンのたるみを取る



重要

- リボンがたるんでいると正しく動作しないことがあります。

8 リボンカセットを戻して、カバーを閉める



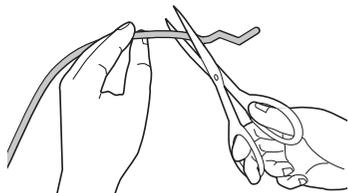
- リボンカセットは真っ直ぐに差し込み、カチッと音がするまでしっかりと押します。
- カバーを閉めると、確認画面が表示されます。

-
- 9 印字媒体を取り除けたときは、[◀] または[▶]で「はい」を選び、[Enter]キーを押す

搬送路内の印字媒体を取り除くことができましたか？
はい いいえ

- 文字入力画面に戻ります。
- 「いいえ」を選ぶと、再度「搬送エラー」メッセージが表示されます。手順1から操作して、印字媒体を完全に切り除いてください。

-
- 10 取り除いた印字媒体の、折れ曲がったり傷ついたりした部分や印刷済みの部分を切り取る



-
- 11 印字媒体を再度セットする (→ P.20)

きれいに印刷されない / 印字媒体がうまく送れない / きれいにカットできない / カット位置がずれる

以下の項目を確認してください。

確認項目	対処方法
リボンカセット、テープカセット、アタッチメントは正しくセットされていますか？	アタッチメントまたはカセットを取り出し、再度セットしてください。(→ P.19)
チューブや記名板がねじれたり反ったりしていませんか？	ねじれや反りを直して再度セットしてください。(→ P.20) また、巻きぐせなどでチューブや記名板の先端が曲がっている場合は、まっすぐになるように直す、またはその部分を切り取ってから本体にセットしてください。
チューブや記名板は汚れていませんか？	汚れやゴミを乾いた布でふき取ってください。また、油などのふき取れない汚れがついたものは使用しないでください。
チューブや記名板の搬送に負荷がかかっていませんか？	搬送に負荷がかかると、カット位置がずれたり、印刷がかすれたりする場合があります。また、チューブリールを使用の場合は、負荷を軽くして使用してください。
搬送ローラーが汚れていませんか？	搬送ローラーを清掃してください。(→ P.40) 月に1回程度の清掃をおすすめします。
印字ヘッドが汚れていませんか？	印字ヘッドを清掃してください。(→ P.41) 月に1回程度の清掃をおすすめします。
アタッチメントやチューブウォーマー（オプション）のクリーナーが汚れていませんか？	クリーナーを清掃してください。(→ P.41) 月に1回程度の清掃をおすすめします。
カッターは正しく取り付けられていますか？	「 カッターの交換 (P.42) 」を参考に正しく取り付けてください。
カッターの深さや強さは適切ですか？	カッターの深さと強さを調整してください。 <ul style="list-style-type: none"> • MK5000 の場合 [補正] キー → [全切り (深さ)] (または [全切り (強さ)]) を選びます。 • MK3000 の場合： [オプション] キー → [印刷結果を補正] → [全切り (深さ)] (または [全切り (強さ)]) を選びます。 <p> メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> • 同様の手順で、「半切り (深さ)」「半切り (強さ)」を選ぶと、半切りの調整ができます。詳しくは、ユーザーズガイドを参照してください。
カッターの交換時期ではありませんか？	カッターを交換してください。(→ P.42) カッター動作回数 50,000 回が交換の目安です。(PVC チューブ：内径φ 3.2mm 使用時)
使用環境は適切ですか？	<ul style="list-style-type: none"> • 動作環境については、「仕様 (P.47)」を参照してください。また、チューブウォーマー（オプション）を使用すると、5℃までの低温環境で印刷できます。 • 印刷位置やカット長を微調整してください。(→ P.44)

■ 搬送ローラーの清掃

⚠ 警告

- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。

1 カバーを開き、リボンカセットおよびアタッチメント（またはラベルテープカセット）を取り外す

2 カバーを閉めて、以下のように操作する

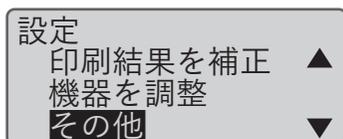
MK5000 の場合：

[設定] キーを押します。

MK3000 の場合：

[オプション] キーを押します。

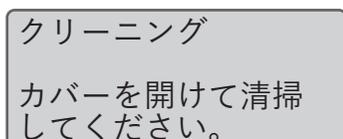
3 [▲] または [▼] で「その他」を選び、[Enter] キーを押す



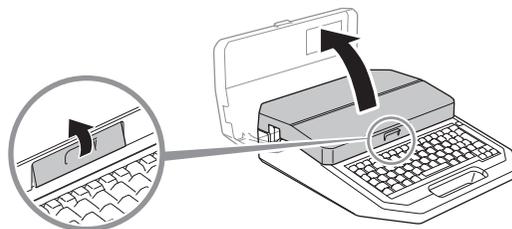
4 [▲] または [▼] で「クリーニング」を選び、[Enter] キーを押す



- キーを押すと、画面に指示が表示されます。



5 カバーを開ける



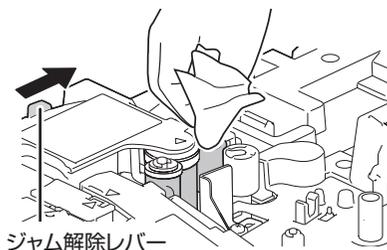
- カバーを開けると、画面に指示が表示されます。

クリーニング

清掃後、カバーを閉じてください。

6 水を含ませて固く絞った布で搬送ローラー1、搬送ローラー2および搬送ローラー3の汚れをふき取る

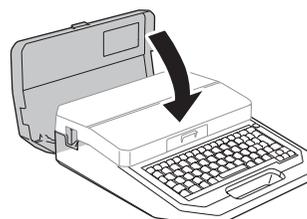
- 搬送ローラー3は、ジャム解除レバーを矢印方向に押しながら清掃します。



✔ 重要

- 糸くずの出ない布を使用してください。

7 カバーを閉める



- 搬送ローラーが回転します。

8 手順5～7を繰り返す

- カバーを8回開閉すると、ローラーが1回転します。

9 清掃が終わったら、[Shift] + [取消] キーを押す

■ 印字ヘッドの清掃

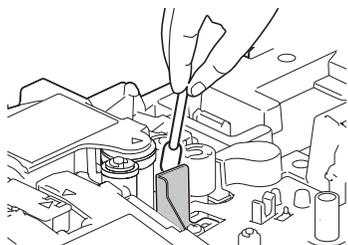
⚠ 警告

- 清掃するときは、必ず電源を切って、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電池も本体から取り外してください。
- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。

1 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く (→ P.28)

- 電池を使用している場合は、電池を取り外してください。

2 カバーを開き、水で湿らせ固く絞った綿棒で印字ヘッドの汚れをふき取る



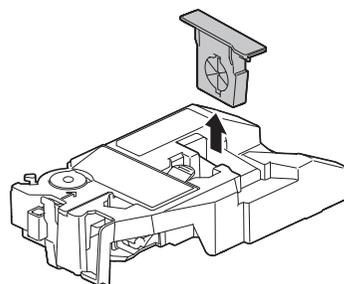
✔ 重要

- 印字ヘッドには直接手を触れないでください。故障の原因になることがあります。

■ クリーナーの清掃 / 交換

チューブアタッチメント、チューブウォーマー（オプション）および記名板・フラットチューブアタッチメント（オプション）には印字媒体の表面に付着した汚れを除去するクリーナー（または記名板用クリーナー）が取り付けられています。

図のようにしてクリーナー（または記名板用クリーナー）を取り外し、スポンジに付着した汚れを取り除いてください。スポンジが破損した場合は、クリーナーごと交換してください。



✔ 重要

- 使用済みのクリーナーは以下に従って処分してください。

企業でお使いの場合：

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）」に従って処分してください。

一般家庭でお使いの場合：

地域の条例に従って処分してください。

- クリーナーには、クリーナー（青色）と記名板用クリーナー（灰色）の2種類があります。詳しくは「消耗品（P.54）」を参照してください。

■ カッターの交換

カッターの深さと強さを調整しても、チューブやラベルテープがうまく切断されないときはカッターを交換してください。また、カッターを交換するときは、同時にカッター受け台も交換してください。

⚠ 注意

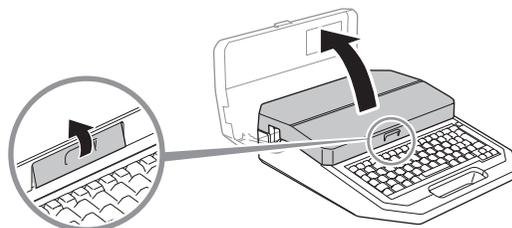
- カッターは直接触ることができないような構造になっていますが、取り扱いを誤ると刃が飛び出して、けがをする恐れがあります。本書に記載されていない操作は絶対に行わないでください。
- 交換した部品は放置しないでください。幼児の手などに触れるとけがをするおそれがあります。
- カッターを交換するときは、必ず電源を切ってください。

✔ 重要

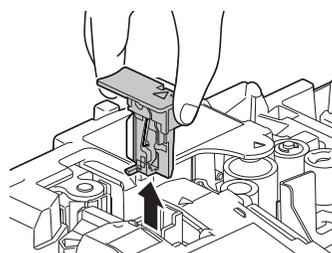
- カッター動作回数 50,000 回ごとを目安に交換してください。（PVC チューブ：内径φ 3.2mm 使用時）
- 使用済みのカッターとカッター受け台は以下に従って処分してください。
企業でお使いの場合：
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）」に従って処分してください。
一般家庭でお使いの場合：
地域の条例に従って処分してください。

1 電源を切る（→ P.28）

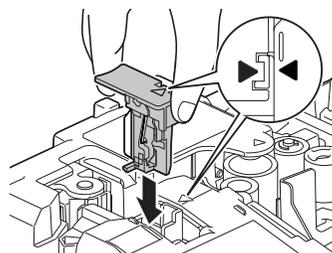
2 カバーを開ける



3 カッターを取り外す

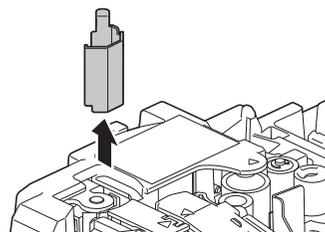


4 新しいカッターをセットする

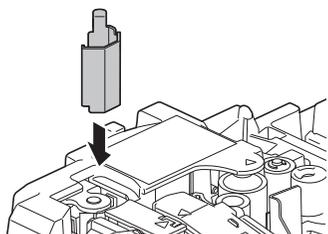


- 向きに注意して、奥に突き当たるまで差し込みます。

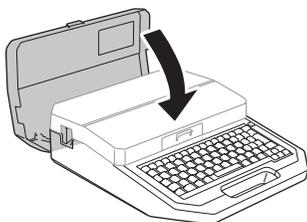
5 カッター受け台を取り外す



6 新しいカッター受け台をセットする



7 カバーを閉める



8 電源を入れる (→ P.22)

9 以下のように操作する

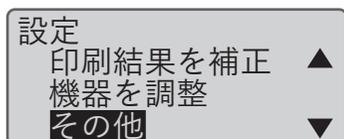
MK5000 の場合：

[設定] キーを押します。

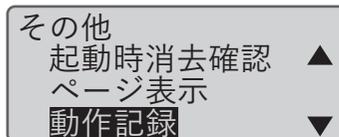
MK3000 の場合：

[オプション] キーを押します。

10 [▲] または [▼] で「その他」を選び、[Enter] キーを押す



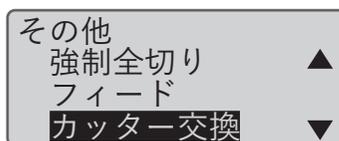
11 [▲] または [▼] で [動作記録] を選び、[Enter] キーを押す



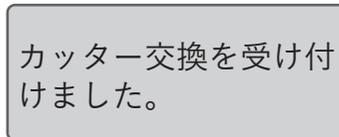
12 カッター動作回数を記録したあと、[Enter] キーを押す (→ P.55)



13 [▲] または [▼] で「カッター交換」を選び、[Enter] キーを押す



- 以下の画面が表示されたあと、元の画面に戻ります。



- カッター動作回数が「0回」にリセットされます。
- カットの深さや強さが「標準」に戻ります。

14 [Shift] + [取消] キーを押す

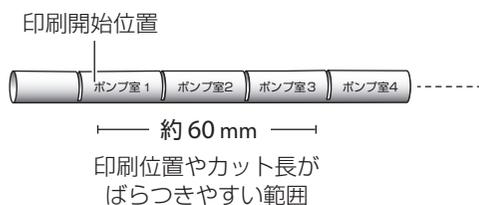
- 文字入力画面に戻ります。

印刷位置がずれる / 設定した長さにならない

思ったような印刷結果が得られない場合は、次のことを試してみてください。

■ 印字媒体節約搬送モードを「オフ」に設定する

先端部分（印刷開始位置から約 60 mm）の印刷は、印刷位置やカット長がばらつくことがあります。ばらつきが気になる場合は、印字媒体節約搬送モードの設定を「オフ」にして印刷してください。印字媒体節約搬送モードについては、ユーザーズガイドを参照してください。

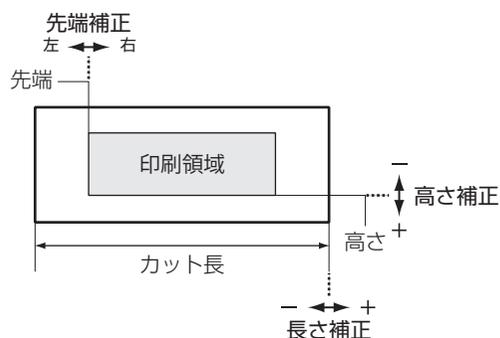


✔ 重要

- 印字媒体節約搬送モードを「オフ」に設定すると、「オン」を設定しているときに比べて、先端部分の余白が多くなります。

■ 補正機能で調整する

補正機能を使って、印刷位置（先端 / 高さ）やカット長（長さ）を微調整してください。補正機能については詳しくは、ユーザーズガイドを参照してください。



✔ 重要

- 記名板は先端補正できません。

表示言語を変更したい

ディスプレイに表示する言語を変えられます。

1 以下のように操作する

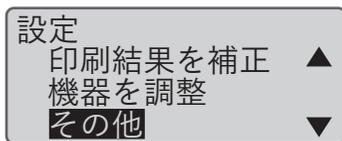
MK5000 の場合：

[設定] キーを押します。

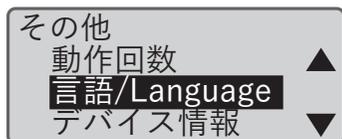
MK3000 の場合：

[オプション] キーを押します。

2 [▲] または [▼] で「その他」を選び、[Enter] キーを押す



3 [▲] または [▼] で「言語 / Language」を選び、[Enter] キーを押す



4 [▲] または [▼] で言語を選び、[Enter] キーを押す



5 [Shift] + [取消] キーを押す

- 文字入力画面に戻ります。

メッセージが表示されている

本製品の操作中や印刷中にトラブルが発生すると、ディスプレイにエラーメッセージを表示します。メッセージを確認し、それぞれの対処方法に従って操作してください。

メモ

- 下表にない場合は、ユーザーズガイドを参照してください。

メッセージ	内容 / 対処方法
電池残量が減っています。操作を継続しますか？	電池が消耗しています。「はい」を選ぶと、印刷を続けることができます。印刷が終了したら、一度電源を切ってください。そのあと、電池を交換するか AC アダプターを接続してください。(→ P.17)
リボンカセットの情報が読み取れませんでした。残量が表示できません。	リボンカセットの IC チップから情報が読み取れませんでした。または、すでに使い切ったリボンカセットがセットされています。任意のキーを押し、画面の指示に従い操作してください。
インクリボンが記名板用ではありません。正しく印字できない可能性があります。	記名板に印刷する場合は、リボンカセット(黒・40 m)をお使いください。リボンカセット(黒・40 m)をセットしたあと任意のキーを押し、画面の指示に従い操作してください。
印字ヘッド位置を初期化できません。	任意のキーを押ししてください。それでも、同じメッセージが表示される場合は、ユーザーズガイドを参照してファームウェアを更新してください。
リボンカセットがセットされていません。	リボンカセットをセットしてください。[Enter] キーを押すと印刷を再開します。
リボン終了 リボンカセットを交換してください。	新しいリボンカセットに交換し、[Enter] キーを押すと中断したページから印刷を再開します。(→ P.34)
印字媒体がセットされていません。	印字媒体がセットされていないか、正しくセットされていません。印字媒体をセットし直してください。[Enter] キーを押すと印刷を開始します。
印字媒体終了 印字媒体を引き抜いてください	印刷中に印字媒体がなくなりました。印字媒体を本体から引き抜き、任意のキーを押ししてください。新しい印字媒体に交換したあと [Enter] キーを押すと、中断したページから印刷を再開します。
印字媒体の先端が検出できません。 ヘッド~カッター間の印字媒体を取り除いてください	印字媒体を取り除き、印字ヘッドとカッターの間に印字媒体がつかっていないこと確認してください。つまった印字媒体を取り除く場合は、「 チューブやラベルテープがつかったときは (P.36) 」を参照してください。印字媒体を正しくセットしたあと、[Enter] キーを押すと、印刷を再開します。
搬送エラー 搬送路内に媒体が詰まっています。	印刷中に印字媒体がつまりました。画面の指示に従って、つまった印字媒体を取り除いてください。(→ P.36)
サイズ切り替えレバーの位置が合っていない。 印刷を続けますか？	印刷設定画面で設定した印字媒体のサイズと、サイズ切り替えレバーの位置が合っていない。(→ P.20) 「はい」を選ぶと、印刷を開始します。設定し直す場合は、「いいえ」を選び、画面の指示に従ってサイズ切り替えレバーを正しい位置に設定してください。任意のキーを押すと印刷を開始します。
電源を切り、ACアダプターを確認してください。	電源を切り、ACアダプターのプラグをコンセントから抜いたあと、修理対応窓口にご連絡ください。

仕様

プリンター本体

製品名	MK5000	MK3000
印刷方式	熱転写印刷方式	
解像度	300dpi	
印刷速度	高速モード：40 mm/秒 *1 中速モード：25 mm/秒 低速モード：18.5 mm/秒	高速モード：25 mm/秒 低速モード：18.5 mm/秒
印刷処理速度 <印刷条件> チューブ連続印刷： カット長 20mm、5文字（3mm全角）、半切りあり、カット強さ標準	高速モード（40 mm/秒）： 55本/分 （φ 1.5 mm～φ 6.5 mm） 45本/分 （φ 7 mm～φ 10 mm） 中速モード（25 mm/秒）： 35本/分 低速モード（18.5 mm/秒）： 30本/分	高速モード（25 mm/秒）： 35本/分 低速モード（18.5 mm/秒）： 30本/分
カット長	チューブ、ラップアラウンド テープ：8 mm～150 mm ラベルテープ：4 mm～150 mm 記名板：2 mm～150 mm *2	チューブ、ラップアラウンド テープ：8 mm～150 mm ラベルテープ：4 mm～150 mm
インクリボン	リボンカセット（黒色：40 m/150 m、白色：85 m）	
文字サイズ	1.3mm全角、2 mm全角/半角、2.6 mm全角/半角、 3 mm全角/半角、4 mm全角/半角、6 mm全角/半角 （ただし、1.3mm全角、2 mm全角/半角は漢字不可）	
文字種類	JIS 第1水準、JIS 第2水準、記号類	
入力方法	ノートパソコンタイプキーボード （JIS配列準拠） ローマ字かな漢字変換入力、 ひらがな入力、カタカナ入力、 英数字入力、区点コード入力、 記号入力	ゴムキーボード ローマ字かな漢字変換入力、 ひらがな入力、カタカナ入力、 英数字入力、区点コード入力、 記号入力
表示方法	バックライト付き液晶表示器によるグラフィック表示 （160×64ドット）	
ディスプレイ表示文字数	入力データ 10文字×2行（全角表示時）	
メモリー容量	印刷文字データ記憶部 約 5,000文字 ファイル保存記憶部 約 250,000文字 フォルダー数：10	

カット方式	自動半切り、自動全切り	
電源	ACアダプター (PR-TP001) 使用	100 ~ 240 V 50/60 Hz 0.74 A
	充電式電池	エネルーブ (eneloop) 単 3 形スタンダードモデル (品番: BK-3MCC) × 6 本
インターフェイス	USB2.0 Full-Speed (USB1.1 対応可能) Bluetooth Specification Version 5.0 (Bluetooth Low Energy 技術)	USB2.0 Full-Speed (USB1.1 対応可能) *3
動作環境	温度 15℃ ~ 32.5℃、湿度 10% ~ 85% (ただし結露なきこと) * チューブウォーマー (オプション) 使用時は 5℃ ~ 18℃	
最大消費電力	25 W	24 W
本体寸法	幅 (W) 272 mm × 奥行 (D) 318 mm × 高さ (H) 97 mm	
本体質量	2.7 kg (本体のみ)	

*1 印字媒体の種類やご使用の環境によっては、印刷速度が遅くなる場合があります。

*2 パソコンからカット長 4 mm 未満に設定して記名板を印刷する場合は、アプリケーションソフトウェア「MK デスクトップ・ユーティリティ」Ver.1.02 以降、プリンタードライバー V1.1.0 以降をインストールする必要があります。

*3 MK3000 の場合は、ファームウェアのバージョンアップ時のみ使用します。

印字媒体

印刷に使用できる印字媒体は以下のとおりです。

チューブ *1	ポリ塩化ビニル (PVC) チューブ	内径：φ 1.5 mm～φ 10 mm、厚さ：0.4 mm～0.6 mm * チューブウォーマー使用時：φ 1.5 mm～6.5 mm
	透明チューブ	
	熱収縮チューブ	内径：φ 1.5 mm～φ 10mm、厚さ：0.2 mm～0.4 mm
	キープチューブ	内径：φ 3.0 mm～φ 5.5 mm、厚さ：0.4 mm、0.5 mm
ラベルテープ		専用力セット（白色、黄色、銀色） 幅：6mm、9mm、12mm、長さ 30m（銀色 27m）
ラップアラウンドテープ *4		専用力セット（印刷部のみ白色、その他は透明） テープ幅 / 巻き長さ：33 mm / 8m 巻
フラットチューブ (扁平形チューブ) *1*2		内径：φ 1.5 mm～φ 6.5 mm、幅：11.2 mm 以下、 厚さ：0.4 mm～0.6 mm
記名板 *1*2*3		厚さ：0.5 mm、幅：8.0 mm～10.0 mm

- *1 チューブ（キープチューブを除く）および記名板は市販品をお求めください。また、市販のチューブ、記名板の中には、本プリンターで印刷できないものがあります。事前に動作確認をしてからご使用ください。
- *2 オプションの記名板・フラットチューブアタッチメントが必要です。
- *3 記名板への印刷は MK5000 のみ対応しています。
- *4 発売時期は、プリンター本体を購入された販売店にお問い合わせください。

ソフトウェアの動作環境（MK5000のみ）

対応 OS	Windows 11 *1 Windows 10 (64bit/32bit)
コンピューター	上記オペレーティングシステムが動作可能なもの
ディスプレイおよびビデオドライバー	1024 × 768 ドット以上 推奨：1280 × 1024 ドット
インストール時に必要なハードディスクの空き容量（一時的に使用する領域も含む）	アプリケーションソフトウェア：100 MB プリンタードライバー：100 MB * 容量は予告なく変更となる場合があります。

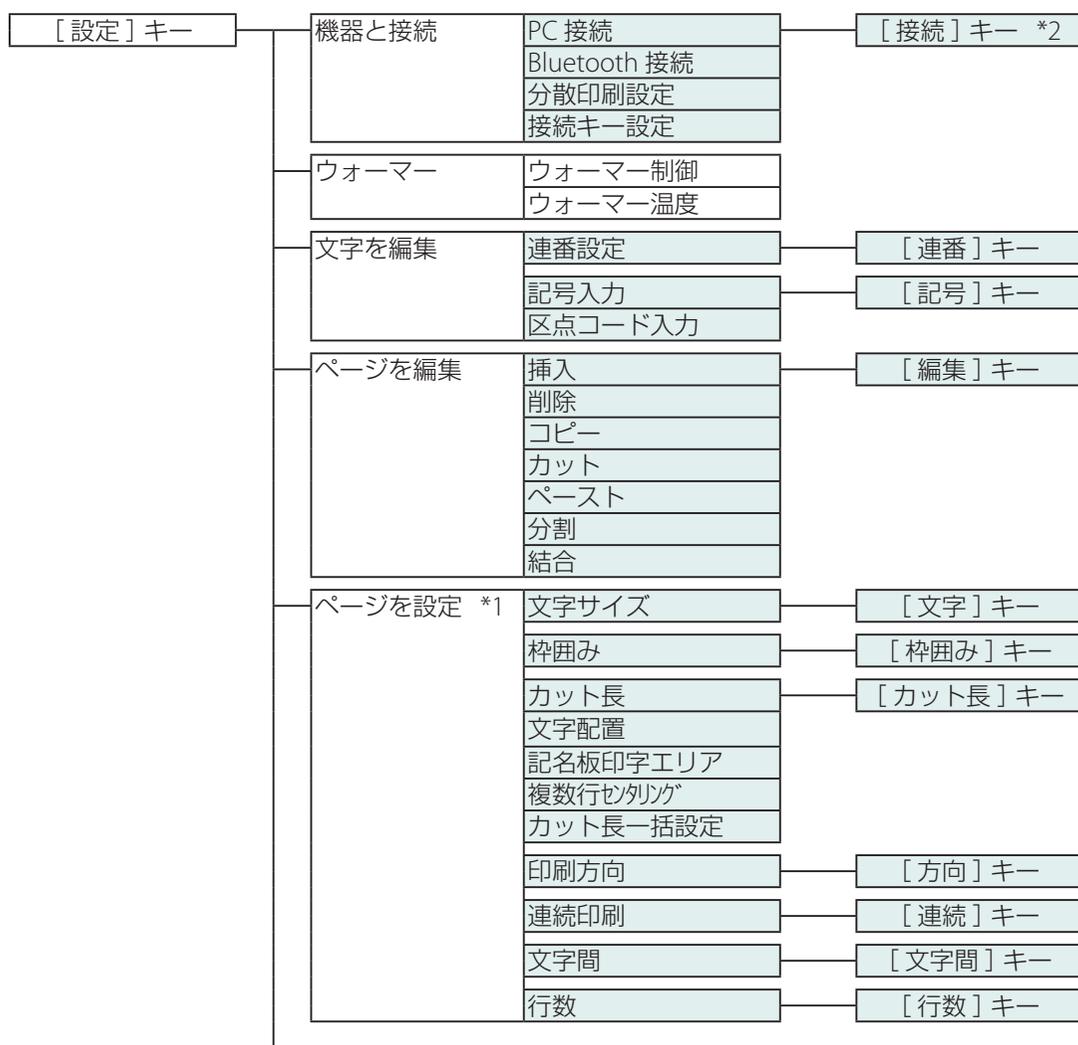
- *1 アプリケーションソフトウェア「MK デスクトップ・ユーティリティ」Ver.1.02 以降、プリンタードライバー V1.1.0 以降をインストールする必要があります。

付録

機能一覧

■ MK5000 機能一覧

各機能キーから設定できる機能は以下のとおりです。すべての機能は、[設定] キーから設定できます。



*1 「ページを設定」内の並び順は、実際の画面表示と異なります。

*2 「接続キー設定」が「PC/Bluetooth 接続」（初期設定値）の場合

印刷全体を設定	半切り設定	[カット設定] キー
	全切り設定	
	記名板全切り設定	
	6, 9下線	
	センターライン	
入力データを削除	文字のみ	[全削除] キー
	文字+設定	
ファイル进行操作	保存	[ファイル] キー
	呼出し	
	削除	
印刷結果を補正	先端	[補正] キー
	高さ	
	長さ	
	半切り (深さ)	
	半切り (強さ)	
	全切り (深さ)	
	全切り (強さ)	
	印刷濃度	
機器を調整	印刷速度	
	表示濃度	
	バックライト (アンプター)	
	バックライト (電池)	
	音	
その他	取り出し	[取出し] キー
	クリーニング	
	強制全切り	
	フィード	
	カッター交換	
	巻き戻り動作	
	自動電源オ	
	自動電源オ (電池)	
	自動バックライトオ	
	印字媒体節約搬送	
	軟チューブ 搬送モード	
	起動時消去確認	
	ページ表示	[ページ表示] キー
	動作記録	
	言語 /Language	
	デバイス情報	
	ファームウェア更新	

■ MK3000 機能一覧

各機能キーから設定できる機能は以下のとおりです。すべての機能は、[オプション] キーから設定できます。



*1 「ページを設定」内の機能の並び順は、実際の画面表示と異なります。

印刷結果を補正	先端	
	高さ	
	長さ	
	半切り (深さ)	
	半切り (強さ)	
	全切り (深さ)	
	全切り (強さ)	
	印刷濃度	
機器を調整	印刷速度	
	表示濃度	
	バックライト (アダプター)	
	バックライト (電池)	
	音	
その他	取り出し	[取出し] キー
	クリーニング	
	強制全切り	
	フィード	
	カッター交換	
	自動電源オ	
	自動電源オ (電池)	
	自動バックライトオ	
	印字媒体節約搬送	
	軟チューブ 搬送モード	
	起動時消去確認	
	ページ表示	
	動作記録	
	言語 /Language	
	デバイス情報	
ファームウェア更新		

消耗品 / オプション一覧

本製品の消耗品とオプションは以下のとおりです。

詳しくは、本製品をご購入の販売店またはお客様相談センターにお問い合わせください。

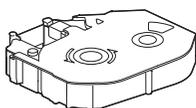
📖 メモ

- チューブ（キープチューブを除く）および記名板は市販品をお求めください。詳しくは、「仕様」の「**印字媒体 (P49)**」を参照してください。
- キープチューブ、ラップアラウンドテープカセットの入手方法については、本製品をご購入の販売店またはお客様相談センターにご連絡ください。

■ 消耗品

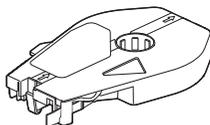
● リボンカセット

黒色：40 m / 150 m
白色：85 m



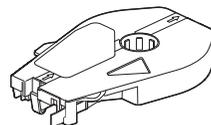
● ラベルテープカセット

幅：6mm/9mm/12mm
色：白色 / 黄色 / 銀色

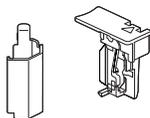


● ラップアラウンドテープカセット

テープ幅：33 mm
巻き長さ：8m 巻
色：白色



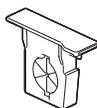
● カッターセット



● クリーナー

* 青色

* チューブアタッチメント、記名板・フラットチューブアタッチメント（フラットチューブ印刷時に使用）、チューブウォーマー共通



● 記名板用クリーナー

* 灰色

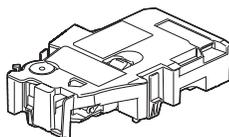
* 記名板・フラットチューブアタッチメント（記名板印刷時に使用）



■ オプション

● チューブウォーマー

寒さで硬くなったチューブを温めるための装置です。チューブウォーマーを使うと、低温環境でもきれいに印刷できます。

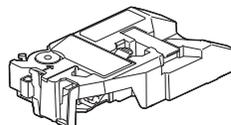


● 記名板・フラットチューブアタッチメント

記名板またはフラットチューブに印刷するときに使います。

* 記名板への印刷は MK5000 のみ対応

* クリーナー（青色）と記名板用クリーナー（灰色）各 1 個を付属



● チューブアタッチメント

● 電源ケーブル、AC アダプター（PR-TP001）セット

● お問い合わせ

キヤノンお客様相談センター

0570-08-0064

【受付時間】

<平日> 9:00~17:00 (土日、祝祭日と年末年始、弊社休業日を除く)

* 上記番号は0570から始まるナビダイヤルを利用しています。

* ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、03-6634-4412 におかけください。

● 本製品の修理依頼先

キヤノンシステムアンドサポート株式会社 テクニカルリペアセンター

〒141-0032 東京都品川区大崎5-10-6 大崎ロジスティックビル4F TEL 03-5496-0720

【受付時間】

<平日> 9:00~17:30 (土日、祝祭日と年末年始、弊社休業日を除く)

* 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

Canon

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南 2-16-6